

このリストは薬剤師が調査を中心とした情報活動を行うために特に有用な資料をピックアップしたもので、出版年代は1990年代を中心としています。価格は基本的に消費税抜きの価格としましたが、変更になっている書籍もあると思いますので確認して下さい。他により資料や、誤字脱字、間違いなどがありましたら連絡いただきますようお願いいたします。

：全体をとおして、ぜひそろえてほしい情報源。書籍に雑誌をどちらか1種そろえると約10万円になります(インターネットを除く)。  
 ：各分野で特によく利用する情報源。

300KW	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
010: 医薬品リスト	1		新旧薬剤心ドブック	木村徳三、監	薬事新報社	1992	2718	別	ある医薬品が使用禁止になった場合、その時は覚えていても時間とともに忘れてしまう。そのような情報をまとめておこうと企画された書籍。対象医薬品は昭和50年頃までに発売された新薬のうち、昭和63年7月現在薬価掲載されていないものや、薬は今もあるが使用されない古い呼び名などである。薬の概要、発売年、中止年がわかる範囲で記載されている。販売中止の薬を調査できる書籍は少ない。
	2		薬名検索辞典 1991	総合薬事研究所	じほう	1990	23786	別	”薬名に関することであれば、この1冊でその手がかりが得られる”ことを意図して作成された書籍。対象は、医薬品(国内・国外の公定名、化学名、基準名、一般名、通称名、略称、コード番号、治験番号、生薬名、商品名)を中心に、治験薬、動物薬、医薬部外品、農薬、試薬、食品添加物、化粧品原料など非常に広範囲にわたっている。旧公定書名や未発売の商品名、さらに市場にない古い薬品の商品名なども収載。1991年以前の薬であれば、ほぼ調査可能である。
020: 医薬品リスト 海外	3		AMERICAN DRUG INDEX 2002	-	FACTS AND COMPARISONS	2001	11360	別	アメリカの医療用・一般用医薬品のリストである。会社名、成分、剤型、薬効等を簡単に記載。成分で検索するとその成分を含有している配合剤の商品名がリストアップできる。アメリカの医療用および一般用医薬品の概略が調査できる。
	4		INDEX NOMINUM 2000	SWISS PHARMACEUTICAL SOCIETY	MEDPHARM SCIENTIFIC PUBLISHERS	2000	23400	別	スイスの薬剤師会が編集しており、医薬品の同義語情報を収載している。記載はフランス語であるが収載薬品名のアルファベット順に配列されているため検索可能。
	5		International nonproprietary names (INN) for pharmaceutical substances	-	World Health Organization	1992	21000	別	医薬品の一般名称には、それぞれの国での一般名称(たとえばJANは日本の一般名称)と、国際一般名称(INN)がある。INNでは薬理作用あるいは化学構造の類似したグループに対しシステムが設定されている。この書籍ではWHOで推薦されたINNが調査できる。
	7		USP Dictionary of USAN and International Drug Names	-	United States Pharmacopieial Convention, Inc.	1995		-	1961年からのUSAN(アメリカ一般名)を累積したリスト。USANや他の名称(商品名、治験番号など)がアルファベット順に配列され、USAN、USAN発表年、発音、分子式、化学名(CA索引語・倒置も)、CAS登録番号、薬効、商品名、会社名、治験番号が記載されている。他に、USAN、USP、NFの名称を、薬効別に収載したリストや、分子式索引、CAS登録番号索引もある。USANが調査できる。
030: 医薬品集			日本医薬品総覧 2001~2002年版	JAPAN DRUGS編集委員会	メディカルビュー社	2001	24000	別	薬の適正使用と安全性を確保するために必要な情報の大半が得られ、かつ読みやすい解説書をめざして作成された書籍。「使用上の注意」「服薬指導のポイント」に重点がおかれ、「使用上の注意」の副作用は、「まれに」、「ときに」ではなく%を用い、副作用の臨床報告は参考文献とともに記載されている。一番注目すべき特徴は、適応外使用について参考文献があわせて記載されているところである。適応外使用の情報はメーカーからの入手が困難であり、これだけまとまっている情報源は他には見あたらない。MEMO覧には各薬剤の新しい情報が記載されている。適応外使用の情報源として使える。
	8		JAPAN DRUGS 98 日本医薬品総覧	JAPAN DRUGS編集委員会	メディカルビュー社	1998	24000	別	薬の適正使用と安全性を確保するために必要な情報の大半が得られ、かつ読みやすい解説書をめざして作成された書籍。「使用上の注意」「服薬指導のポイント」に重点がおかれ、「使用上の注意」の副作用は、「まれに」、「ときに」ではなく%を用い、副作用の臨床報告は参考文献とともに記載されている。一番注目すべき特徴は、適応外使用について参考文献があわせて記載されているところである。適応外使用の情報はメーカーからの入手が困難であり、これだけまとまっている情報源は他には見あたらない。MEMO覧には各薬剤の新しい情報が記載されている。適応外使用の情報源として使える。
	9		医療薬日本医薬品集 2002	日本医薬情報センター、編	じほう	2001	23500	別	現在日本国内で使用可能な医薬品を網羅し、かつ医薬品を使用する際に必要な情報を集約して提供することを目的とした書籍。厚生省薬務局の援助と各メーカーの協力を得て、常時国内で使用されている医薬品について、最新の添付文書の内容を収録、整理し、他の資料からの情報も加えて編集された日本版PDRである(PDRはアメリカの主な医薬品の医薬品集)。構造式や参考文献の記載はない。一般名の五十音順に配列されており、商品名が違っても一般名が同じならまとめて記載される。一般名、商品名、英名、薬効、製剤識別コードから調査可能。薬価基準収載品でも製造中止などにより該当製品がなくなったものについては「未収載医薬品一覧」に、また、該当製品はあるが製造販売が中止されているものは「製品」欄に中止と明記して記載されている。医薬品の網羅性の高さや識別可能な点から、薬剤師の必須アイテム間違いなし。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
03 5: 医薬品集 一般薬	10		OTCハンドブック -基礎から応用まで<2002-03>	堀美智子、監	学術情報流通センター	2002	12000	別	OTCを購入する患者さんが薬を適正に使用するために必要な情報を提供することを目的として作成された書籍。約6400製品のOTCについて、「薬効毎に「使用目的と適応」、「使用上の注意事項とその解説」、「薬理作用の解説とその特徴」、「販売時の注意事項」、「商品一覧表」、「効能・効果一覧」、「用法・用量一覧」の項目でまとめられている。付録の相互作用一覧、慢性疾患患者販売注意成分一覧は、購入者に何らかの基礎疾患がある場合や医療用医薬品を服薬しているような場合に必要な情報が記載されている。OTCについて調査する場合には必須アイテム間違いなし。
	11		一般薬 日本 医薬品集 20 02-03	日本医薬 情報センター	じほう	2001	17000	別	医療薬日本医薬品集の一般薬版である。約16000品目の一般薬について、適応、用法用量、価格、包装などがまとめられている。一般薬を調査できる資料としては網羅性が高い。
04 0: 医薬品集 その他	12		長期投与医薬品 便覧 平成11年8月版	医薬情報 研究所	じほう	1999	3300	別	この書籍は長期投与が認められる厚生大臣の定める内服薬と外用薬及びその対象疾患をまとめたものである。商品名順に配列され、掲載されていれば長期投与が可能であることがわかるが、適応症、適用開始期日、経過措置品目か否かを確認する必要がある。
	13		保険薬事典 平成11年8月	薬業研究 会	じほう	1999	4400	別	日本標準商品分類番号を基に薬効順に配列され、商品別に薬価が記載されている。100錠または100カプセル以下の包装形態の有無の記載もある。
05 0: 医薬品集 海外	14		AHFS 2002 D RUG INFORMAT ION	-	American Society of Hosp ital Pha rmacists	2002	39900	込	米国薬剤師会が編集している医療用医薬品の比較、評価された情報が入手できる医薬品集。AHFS分類とよばれる薬効毎でまとめられ、構造式、物理的性質、薬理、作用機序、吸収・代謝・排泄、血中濃度、効能、警告、副作用(よく起こる副作用、重篤な副作用)、使用上の注意、慢性・急性毒性とその治療法、相互作用、臨床検査への影響、用法・用量等が記載されている。オンライン検索が可能でCD-ROM版がある。
	15		AMA Drug Ev aluations D rug Evaluat ions	-	American Medical Associa tion	1995	20000	別	米国医師会の薬事審議会 Council on Drugsによって評価された医薬品を対象とし、医薬品の臨床での使用方法に関する情報が記載されている。記載項目は構造式、作用、用法・用量、吸収、使用上の注意、相互作用、副作用等である。オンライン検索可能。
	16		Handbook of Nonprescrip tion Drugs 9th Ed.	-	American Pharmac eutical Associat ion	1990	20000	別	アメリカの薬剤師会が発行している一般薬の情報資料。その薬を服用している患者さんに役立つ項目や、解剖、疾患の解説、治療法、相互作用、服薬指導、文献、OTC の一覧表などが薬効別に表や図を多用して解説している。
	17		MARTINDALE The Extra P harmacopeia 32	Kathleen Parfitt	The Phar maceutic al Press	1999	43000	別	MARTINDALEは、約110年の歴史を誇る名著であり、医薬品の百科事典ともいべき書籍である。医師、薬剤師を対象とし、医薬品の吸収、代謝、排泄、毒性、副作用、物理・化学性質、新医薬品に関する最新情報を、全部で26300の参考文献をあげ解説している。Part 1は重要な医薬品4458のモノグラフを54のチャプターにわけて詳細に解説。類似の医薬品は同じチャプター内に記載されクロスリンクされている。Part 2は784の医薬品について簡潔に解説。Part 3は62500の製品についてメカ名、発売国、一般名、薬効がリストで記載。収載医薬品は62500と非常に広範囲であり、収録国数は日本をはじめ14か国である。ヨーロッパの薬物が多く掲載されている。索引は、一般名、治験番号、化学名、公定名、薬効分類名から検索できるGeneral Indexと商品名索引とがある。オンライン検索可能。CD-ROM版あり。調査できる医薬品の数が非常に多い。
			MARTINDALE The Extra P harmacopeia 33	Kathleen Parfitt	The Phar maceutic al Press	2002	70200	概算	
	18		PHYSICIANS' DESK REFFE RENCE 2002	-	Medical Economic Company Inc.	2001	13343	込	アメリカの製薬メカの代表的な医薬品の添付文書が収載されている。本文はメカ順で商品名のアルファベット順に配列されている。検査薬のSectionやカ-の商品実物大の写真も収載。別冊として相互作用と副作用からの索引と適応疾患別索引がある。PDRはあくまでも添付文書である。日本の添付文書より情報量が多いが、第三者が評価した情報ではないことに注意。
			PHYSICIAN'S DESK REFER ENCE FOR NO NPRESCRIP TION DRUGS AND DIETARY SUPPLEMENTS	-	MEDICAL ECONOMIC COMPANY INC.	2002			PDRの一般薬版。
	19		USP DI 2002 -	-	USP Conv ention I nc.	2002	49875	込	USP DIは、アメリカ薬局方(USP)に収載されている医薬品の臨床応用についての解説書。USP-DIは、Vol.1:Drug Information for the Health Care Professional A,B ,Vol. 2:Advice for the Patient,Vol. 3:Approved Drug Products and Legal Requirements の3分冊からなる。Vol.1は医師、薬剤師等への情報で、各医薬品毎に注意事項、副作用、患者への助言事項、効能効果、一般的投与量などが記載。副作用は付随症状があわせて記載されている。Vol.2は患者への服薬指導解説書であり、薬を処方された患者に服薬指導を目的に利用する場合は著作権を放棄している。本文は簡単な英語で記載され、付録には服み方をわかりやすく説明したイラストの一覧がついている。Vol.3は全部で9セクションからなり、大部分を占めるSection 1は治療学的同等性の評価が一覧表で記載されている。全ての分冊に薬剤のカラー写真とその識別コード一覧がついている。編集者に患者の団体が含まれている点がすばらしい。アメリカ局方収載品を対象に、評価された情報が医療者向け、患者向けにまとめられている。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
05 5:新薬・ 治験薬	20		明日の新薬	-	テカミック フォメーション ・ピス	9999	360000	別	世界のどこかで新薬として研究開発中の化学物質(薬剤)を対象とし、新規化合物、新剤型、新投与経路、新効能、医療用配合剤が対象となっている。公表資料、第三者の見解などをもとに、薬物の生い立ち、基礎・臨床試験の結果から、開発状況、承認時期見込、売上高予想、引用文献などが記載。一般名、商品名、治験番号、(略記号)、薬効名、会社名から検索できる。WJCI検索可能。1998年から国内、国外の治験薬がまとまり1度に情報が入手できるようになった。国内国外の治験薬を調査できる資料としては網羅性が高い。
	21		トライアル・ラッグ ス	-	ミクス			-	国内の学術雑誌等を情報源として、Phase 以降の治験薬の概要をまとめたもの。文献のデータが抜粋されていて使いやすい。手頃な価格の治験薬の書籍である。
06 0:添加物	22		医薬品添加物事典2000	日本医薬品添加剤協会	薬事日報社	2000	17000	別	医薬品添加物の情報の整理・公開が必須となってきたことから、使用前例のある医薬品添加物について厚生省薬務局審査科などの協力を得て発刊された書籍。1084品目、追補では新たに262品目の添加物について記載されている。化学名、構造式、性状、公定書規格、特性、安定性および貯法、配合変化、安定性、取り扱い上の注意、収載公定書、医薬品製剤への応用、関連物質、注意事項、関連文献についてリストで記載されている。添加物の詳細な情報が入手できる。
	23		医薬品添加物ハンドブック	日本薬学会、訳編	丸善	1989	28000	別	医薬品添加物についても適切な情報が収集・整理されることの意義は大きい。日本薬学会の事業として刊行された書籍。145の医薬品添加物について名称、構造式、販売元、製法、性状、公定書規格、特性、安定性および貯法、配合変化、安定性、取り扱い上の注意、収載公定書、医薬品製剤への応用、関連物質、注意事項、関連文献についてリストで記載されている。添加物の詳細な情報が入手できる。
06 2:健康食品	24		改訂新版 健康・栄養食品事典 機能性食品・特定保健用食品	杉靖三郎、監	東洋医学舎	1994	4600	別	健康・栄養食品業界の成長に伴う情報の必要性から刊行された書籍。健康食品についてまとめられている書籍は少ないが、この書籍はその中では数も多く355品目について記載されている。目次は次の通りである。総論：健康・栄養食品の現況。第I部：健康食品。第II部：健康茶・健康水・ダイエット食品。第IV部：保健食物。第V部：栄養・機能性成分。第VI部：情報編。健康食品についてまとめた情報源である。付録の商品情報にはパンフレットが掲載されている。
			健康・栄養食品事典 機能性食品・特定保健用食品	杉靖三郎、監	東洋医学舎		5000	別	
06 5:局方	25		British Pharmacopoeia '88	-	HMSO	1988	42100	別	伴 局方。追補版1年に約1万円。
			British Pharmacopoeia '88	-	HMSO	1988	42100	別	
	26		JP DI 日本薬局方医薬品情報	厚生省薬務局研究開発振興科、監	じほう	1996	33010	別	第13改正日本薬局方第一部収載品目のうち638品目について必要と思われる医薬品情報をまとめたもの。内容は原則として承認事項及び添付文書の範囲内であり、添付文書とイテューフォームをみやすくまとめた感じである。使用上の注意の項では、警告や一般的注意、禁忌、慎重投与の項目にその理由が具体的に付記されている。また、副作用では、再審査後に集積された副作用の情報や副作用発生原因、処置方法、外国での副作用報告とその出典の記載もある。
			JP Hb 1996 日本薬局方ハンドブック	厚生省薬務局研究開発振興課	じほう	1996	7573	別	第13改正日本薬局方を対象とし解説を行っている書籍。第1章日本薬局方、第2章関連告示・通知、第3章日本薬局方と国際調和について、第4章第十三改正日本薬局方原案作成要領/追補への適用について、第5章日本薬局方と関連する基準等について、第6章収載品目の変遷、第7章参考からなる。
	JP TI 1996 日本薬局方技術情報	厚生省薬務局研究開発振興課	じほう	1996	17476	別	第13改正日本薬局方を対象とし、日本薬局方の通則、製剤総則、生薬総則、一般試験法及び各条規格に関連する試験操作を行う上で必要と思われる技術的な参考事項、あるいはそれらに関連した解説事項の中から、提供可能なものを選んでとりまとめた技術情報である。		
27		USP 25 NF 20	-	USP Convention Inc.	2001	97020	込	アメリカ局方。	
07 0:薬理学	28		Goodman & Gilman's the Pharmacological Basis of Therapeutics, 10th Ed.	-	McGraw-Hill Companies	2001	18900		本著は初版が上梓されて約60年になるが薬理学の最も優れた図書としての評価は高い。本書では、薬理学と各医学領域との関連、医学の顕著な進歩に伴う各種医薬品の作用とその応用の現時点での評価、及び治療学における薬力学(Pharmacodynamics)の応用の重要性を強調するという3つの原則が貫かれている。付録には、患者のコンプライアンスを得る指導の原則や薬物速度論(ターゲター)一覧。英語版は第9版。日本語版は第8版。
			グッドマン・ギルマン薬理学 薬物治療の基礎と臨床 9版	高折修二、他監訳	広川書店	1999	39000	別	本著は初版が上梓されて約60年になるが薬理学の最も優れた図書としての評価は高い。本書では、薬理学と各医学領域との関連、医学の顕著な進歩に伴う各種医薬品の作用とその応用の現時点での評価、及び治療学における薬力学(Pharmacodynamics)の応用の重要性を強調するという3つの原則が貫かれている。
	29		一目でわかる 薬理学 薬物療法の基礎知識 第3版	麻生芳郎、訳	MEDSI	1997	2700	別	MEDICAL PHARMACOLOGY AT A GLANCEの訳本である。全部で45章からなり、その中には、薬効別の章以外に薬物作用の原理、薬物-受容体相互作用などの章も含まれている。各章とも見開き2頁からなり、左頁の半分は要点がぎっしりつまったイラストで右半分は臨床情報を加えた解説である。解説を参考にしながらイラストを理解しておけば、次回からはイラストをみれば復習できる。主題が同じで作用点が違う薬が同じイラスト上で記載されており理解しやすい。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
07: 薬理学	30		薬理学 atlas	福原武彦、監訳	文光堂	1992	6000	別	Taschenatlas der Pharmakologieの訳本である。医学部をはじめ、歯学部・薬学部の学生が薬理学の基本的な知識の体系を作り上げることを願って作成された書籍。右のページのイラストは生体の機能系に作用する薬物群の分類を中心に図解しており、左ページにはその要点の解説が記載されている。各薬物に共通する吸収・分布・代謝・排泄といった薬理学総論と、薬理学各論からなる。薬理学の体系がイラストプラス解説で理解しやすい。
	31		わかりやすい薬物受容体の基礎	高柳一成、編	じほう	1994	4078	別	1章では薬物受容体の概念の導入と薬物受容体機構について、第2章では薬物受容体の実体について解説。第3章からは各受容体の生理・薬理作用における役割、最近の研究成果を解説。受容体の基礎に関する書籍は多数出版され、雑誌の特集もくまれている。薬理作用や副作用を考える上で、受容体は基本となるため受容体に関する書籍は何か1冊あると便利である。
08 0: 病態生理学・解剖	32		医科 生理学展望 原書18版	市岡正道、他訳	丸善株式会社	1994	9500	別	National Board Examinationの訳本である。学生を対象としており、生理学全般について記載されている。また、2年毎に改訂されるため、新しい情報が記載されている。巻末のセルフスタディの章では、各章の要点を示した一般問題と選択問題からなっている。生理学の詳細について記載された書籍である。
	33		行方てまなぶ生理学	田中越郎、著	医学書院	1993	2900	別	生理学で学ぶべきことは非常に多く、そのため本書は生理学を学ぶ学生を対象に重要な項目はランク別に記載している（大見出しの項目は試験がおわっても覚えておいてほしい項目）。アニメ風のイラストが豊富。覚えておく必要のある重要なことのポイントが箇条書きされている。左ページは行方、右ページは箇条書き。イラストが生かされた生理学の書籍である。
	34		行方病理学	細田泰弘、監訳	文光堂	1989	7476	別	A. D. T. GOVAN らの Pathology Illustrated 2nd の訳本。基本的な重要事項はほとんどもれなく解説されている病理学の書籍である。本書の特徴は、病理の総論と各論を多数の模式図を採用し、図を一読すれば理解できるように簡潔明解に解説されている点である。
	35		行方微生物学	桜井純、著	南山堂	1993	7767	別	月刊誌薬局に連載された「図説 菌の形態学」をもとに、微生物学を習得する人を対象とした入門書。総論と各論からなり、各論では菌について記載されている。イラストが豊富な微生物学の書籍である。
	36		からだの地図帳	高橋長雄、監	講談社	1989	3883	別	ヒトの体を小宇宙にたとえると、この小宇宙を理解するための最初のステップはからだの地図と地理を理解することであり、本書はこの小宇宙全体を見わたし、からだの探検の道標に使えるよう作成された書籍である。一般人向けであるが、読んでみたいと思わせる力強いイラストが強く、理解しやすい。
	37		一目でわかる生化学分子医学の基礎知識	麻生芳郎、訳	MEDSI	1996	2600	別	一目でわかるシリーズは、左のページのイラスト、右のページは解説で構成されているイラストが生かされた書籍である。Medical Biochemistry at a Glanceの訳本。
			一目でわかる代謝学栄養素代謝の基礎知識	麻生芳郎、訳	MEDSI	1994	2900	別	一目でわかるシリーズは、左のページのイラスト、右のページは解説で構成されているイラストが生かされた書籍である。METABOLISM AT A GLANCEの訳本。B4判の大きい本。
			一目でわかる内分泌学ホルモンと受容体の基礎知識	麻生芳郎、訳	MEDSI	1995	2600	別	一目でわかるシリーズは、左のページのイラスト、右のページは解説で構成されているイラストが生かされた書籍である。Endocrinology at a Glanceの訳本。
			一目でわかる免疫学臨床医学の基礎知識 第2版	麻生芳郎、訳	MEDSI	1996	2600	別	一目でわかるシリーズは、左のページのイラスト、右のページは解説で構成されているイラストが生かされた書籍である。IMMUNOLOGY AT A GLANCE 6th EDITIONの訳本。免疫機構を図示してわかりやすく解説したもの。
			チャートで学ぶ病態生理学	川上義和、他著	中外医学社	1996	8700	別	臨床医学の基礎といえる病態生理学を正しく理解してはじめて適切な医療ができる。本書は病態生理学を正しく理解することを助けるために臨床で経験する約200の病態一つ一つについてフローチャートを用い機序を解説した書籍である。
		行方解剖学	-	中外医学社	1997	7400	別	解剖学を気楽に学べることを目的とした書籍。1ページ読み切り形式で、上半分は行方、下半分は解説となっているが、行方も解説もたとえばユニークで、一度読んだら忘れられない。	
		生化学 atlas	谷口直之、監訳	文光堂	1997	6000	別		
08 5: 疾患・治療  疾患が主	41		Evidence-Based Medicineをめざす糖尿病治療	阿部隆三、他編	南江堂	1997	7500	別	科学的根拠に基づく医療の観点から動物実験、臨床実験の成績が記載されている。文献が豊富。EBMをテーマとした書籍である。
	42		IT デンシに基づく内科疾患の治療戦略 <内科>	-	南江堂	1997	7000	別	内科79(6)、1997。特定の疾患の治療がどのような科学的根拠に基づいているのかを追求し明確にした書籍。EBMをテーマとした書籍である。
	43		患者の病態・生理と薬物投与	日本薬剤師研修センター、監	じほう	1997	4326	-	総論では高齢者、乳幼児、妊婦・授乳婦、ドライバなど特殊な場合への投与について解説されている。疾患別では病気全体にわたって病気の成因と治療などが記載されている。
	44		クリニック・ファーマシーのための内科学	溝口秀昭、編	医薬ジャーナル社	1994	13000	別	病気の概念、疫学、成因、病態生理、臨床症状、検査所見、診断、治療方針、薬物療法、服薬指導、経過と予後の項目について記載されている書籍。病気の概略が把握しやすい構成内容で疾患の全体のことがわかる。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
08 5: 疾患・治療 疾患が主	45		健康の地図 帳	大久保昭 行、監修	講談社	1997	4200	別	医師の診療をうける場合には、それまでの症状や経過を説明する必要があり、病気の説明を受けたときには、その説明がわかるような書籍が必要である。本書は気になる症状別に第一線の専門家が平易に解説した書籍。一般向けであるが、正確なイラストはフルカラーでわかりやすく読んでみようと思わせる。「2.こんな症状が気になるとき」では、日常の症状の原因や、何が原因と考えられるかなどが記載されている。
			病気の地図 帳	山口和 克、監修	講談社	1992	3883	別	主な病気について、正確なイラストや写真を多用し、病気の成因、病態生理、病理像、症状、予後、合併症などの解説がついている。一般向けであるが、正確なイラストはわかりやすく、内容もよい。手に取るとイラストをみながらじっくり見てしまうようなフルカラーの書籍である。
	46		循環器疾患 の薬物療法	石崎高志	南江堂	1992	16000	-	循環器疾患の薬物療法についてclinical pharmacokinetics-pharmacodynamicsとの関連から薬物の臨床薬理学が詳細に解説されている。心不全、高齢者、腎不全、肝不全時の薬物動態と投与計画等実践向き。
	47		一目でわか る 肝臓病学	与芝真、 監	MEDSI	1996	2800	別	疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目を「イラスト」が「解説」でわかりやすく解説している書籍である。
			一目でわか る 虚血性心 疾患 第2版	村松準、 著	MEDSI	1999	2800	別	
			一目でわか る 血管障害	上原誉志 夫、著	MEDSI	1995	2800	別	
			一目でわか る 高血圧 第2版	久代登志 男、他著	MEDSI	1998	2800	別	
			一目でわか る 呼吸器病 学	長尾啓一	MEDSI	1996	2800	別	
			一目でわか る 不整脈	比江嶋一 昌、著	MEDSI	1995	2800	別	
		一目でわか る 水電解質	飯野靖 彦、著	MEDSI	1995	2600	別	疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目を「イラスト」が「解説」でわかりやすく解説している書籍である。	
	48		別冊・医学の あゆみ 腎疾 患-state of arts	成清卓 二、他編	医歯薬出 版株式会 社	1997	8000	別	疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について詳細に解説されている。
			別冊・医学の あゆみ 循環 器疾患-stat e of arts	矢崎義 雄、他編	医歯薬出 版株式会 社	1996	17000	別	疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について詳細に解説されている。循環器疾患では、病態生理の基礎的・臨床的研究の進歩、診断法をめぐる最近の進歩、治療法をめぐる最近の進歩、主要疾患の現況・病態・診断・治療という4つの主題の元に241の項目について解説されている。
			別冊・医学の あゆみ 呼吸 器疾患-stat e of arts	原澤道 夫、他編	医歯薬出 版株式会 社	1999	10000	別	疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について詳細に解説されている。
			別冊・医学の あゆみ 内分 泌・代謝疾患 -state of a rts	赤沼安 夫、他編	医歯薬出 版株式会 社	1997	10000	別	
			別冊・医学の あゆみ 血液 疾患-state of arts Ver. 2	溝口秀 昭、他編	医歯薬出 版株式会 社	1998	10000	別	
			別冊・医学の あゆみ 免疫 疾患-state of arts	今西二 郎、他編	医歯薬出 版株式会 社	1995	8252	別	
			別冊・医学の あゆみ 消化 器疾患-stat e of arts I I.肝・胆・膵 ver.2	玉熊正 悦、他編	医歯薬出 版株式会 社	1999	9400	別	
			別冊・医学の あゆみ 消化 器疾患-stat e of arts I.胃・腸 ve r.2	玉熊正 悦、他編	医歯薬出 版株式会 社	1998	9000	別	
	49		家庭医学館	-	小学館	1999	5714	別	一般向けの書籍であるため、病気の全体のことが広く浅くわかりやすく、いざというときにどうしたらよいか記載されている書籍である。解説のある疾患数は多い。価格も手頃。
	50		メディカル用語ラ イブリーアルキ -分子メカニ ズムから病 態・診断・治 療まで	小俣政 男、編	羊土社	1996	6000	別	疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について2頁位で解説されている書籍である。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容	
08 5: 疾患・治療 疾患が主	50		メ'イカ用語ラ イ'ラ-ウイル ス・細菌感染n ewファイル	永井美 之、他編	羊土社	1997	6900	別	疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について2頁位で解説されている書籍である。	
			メ'イカ用語ラ イ'ラ- 癌 分子メカニ'ム から病態・診 断・治療まで	垣添忠 生、他編	羊土社	1996	6695	別		
			メ'イカ用語ラ イ'ラ- 肝 炎・肝硬変・ 肝癌 分子メ カニ'ムから病 態・診断・治 療まで	小俣政 男、編集	羊土社	1996	6695	別		
			メ'イカ用語ラ イ'ラ- 高血 圧 分子メカ ニ'ムから病 態・診断・治 療まで	藤田敏 郎、編集	羊土社	1995	6200	別		疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について2頁位で解説されている書籍である。高血圧では高血圧の分子生物学と発症機構、高血圧の病型・診断と合併症、高血圧の治療・予防の大項目について87の小項目で解説されている。
			メ'イカ用語ラ イ'ラ- 骨粗 鬆症 分子メ カニ'ムから病 態・診断・治 療まで	松本俊 夫、他編	羊土社	1995	5700	別		疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について2頁位で解説されている書籍である。
			メ'イカ用語ラ イ'ラ- 消化 器病[胃・腸・ 食道]分子メ カニ'ムから病 態・診断・治 療まで	菅野健太 郎、他編	羊土社	1996	6901	別		疾患の詳細を知りたいときに使えるシリーズである。見出しの項目について2頁位で解説されている書籍である。
			メ'イカ用語ラ イ'ラ- 糖尿 病 分子メカ ニ'ムから病 態・診断・治 療まで	門脇孝、 編集	羊土社	1995	5800	別		
		メ'イカ用語ラ イ'ラ- 免疫 疾患 分子メ カニ'ムから病 態・診断・治 療まで	小池隆 夫、他編	羊土社	1996	6500	別			
	51		メ'カニ'ム 第 17版 日本語 版	福島雅 典、総編	日経BP社	1999	9800	別	すべての疾患についての記述を1冊の本にまとめることを目的とするメ'カニ'ムの訳本である。同じ言葉に複数の該当頁がある場合、主なところが太字ではないので不便である。海外の治療についての情報が日本語で容易に入手することが可能。 メルクマニュアル原著。	
			The Merck M annual 16th	Berkow. R., Fletc her, A. J.	Merck & Co., Inc.	1992	5800	別		
52		よくわかる 内科	福山裕 三、著	金原出版	1990	6311	別	161の疾患について、その症状や検査所見をあらわしたものの左ページにはその疾患の概要が記載され、右ページには病態のフローチャート状のシェーマや、疾患のイメージのイラストがある。シェーマからは、疾患の示す症状や、検査値の情報を機序別に把握することができる。全身像のイメージ図がユニークである。		
		よくわかる 内科症候学	福山裕 三、他著	金原出版	1996	7500	別		よくわかる内科の姉妹本。内科系の142の主な症候をあげ、症候ごとに、概要、病態生理、その症候を来す疾患及び頻度をのべ、右側にその症候のフローチャート状の表を記載し、症状がわかるように配慮されている。もちろん疾患のイメージ図もある。全身像のイメージ図がユニークである。	
53		疾患別服薬 指導マニュアル	市村藤 雄、監	じほう	1994	3495	別	代表的な疾患について、疾患の概要・治療剤の分類と特徴・選択薬剤など、疾患中心の解説と、その疾患で使われる薬中心の解説からなる。雑誌「月刊薬事」に連載中。疾患、薬とも詳細に解説されているが、主な疾患が網羅されるまでには至っていない。		
		疾患別服薬 指導マニュアル 第 集	市村藤 雄、監	じほう	1997	3600	別			
		疾患別服薬 指導マニュアル 第 集	市村藤 雄、監	じほう	1999	4000	別			
54		病気と薬剤 改訂4版	日本薬劑 師会、編	薬事日報 社	1996	9515	別	疾患は全部で38に分類し、各疾患ごとに病態生理、薬剤の選択、薬剤の種類と特徴について記載されている。また、その薬物療法に特異性のある小児、妊婦・授乳婦、高齢者への薬物療法については別に章がもうけられている。		
55		症候・異常値 診断マニュアル	中井利 昭、編集 代表	中外医学 社	1996	7400	別	症状や検査値異常から鑑別診断の道筋を示したもので、基本的に見開き2頁からなる。左側はチャートで、右側は鑑別のポイントを文書で記載されている。「基準値・診断マニュアル」、「300疾患診療マニュアル」の3部作のうちの1つ。ポケットサイズの診断マニュアルである。		

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容		
08 5: 疾患 ・ 治療	56		プライマリケアにおける症候・疾患別のわかる薬の使い方-チャートで学ぶ病態メカニズムと治療-	奈良信雄、編	羊土社	2000	5500	別			
				疾患が主							
09 0: 疾患 ・ 治療	57		癌化学療法ハンドブック 第3版	古江尚、他訳	MEDSI	1994	8961	-	Handbook of Cancer Chemotherapyの訳本.癌に対して安全に化学療法を行うための理論と実際について詳細がまとめられている。目次は次の通りである。I.癌化学療法の基本概念。II.化学療法剤。III.各臓器癌の化学療法。IV.癌患者の支持療法の中のいくつかについて。		
				58	癌治療指針 '97-'98	岩永剛、編	医薬ジャーナル社	1996	5768	-	現在もっとも効果的と考えられる治療法について、癌の専門家が執筆した書籍である。各章ごとに癌の病態,診断,治療,QOLについて記載し、各章の最後には併用療法の一覧が表形式で記載されている。文献の記載もある。'97-'98と癌の新しい治療法についてまとめられている。
				59	今日の呼吸器疾患治療指針	山本,泉,太田,宮城 編	医学書院	1992	12360	-	今日の治療指針の呼吸器疾患版。呼吸器疾患197項目について解説されている。処方例があげられている。
					今日の治療指針 2001	-	医学書院	2001	19000	別	日常遭遇する疾患を網羅し、新しい疾患や話題になった疾患について、疾患の概念、診断、治療法を紹介している。あらゆる領域の主要な疾患の治療が、薬品名とその用法用量まで具体的に記載されている専門の臨床家による「私の処方」集というべきものである。毎年出版され、最新の情報が入手できる。毎年各項目の執筆者がかわるため、同じ項目でも、翌年同じ内容が記載されているとは限らない。
					今日の診断指針 第4版	-	医学書院	1997	23000	別	一般臨床医を対象として、最新の検査法を含めた普遍的・総合的な診療技術を解説したもの。症候編と疾患編からなり、症候編では、主な症候の鑑別診断法などについて具体的に記載されている。疾患編では、各疾患の診断上のポイント,コツについて簡潔に述べられている。
					今日の救急治療指針	前川和彦、他編	医学書院	1996	13000	別	救急医療に対する期待の高まる中、本書は救急医療の専門家によって執筆された書籍。救急医療に関する領域をできるだけ網羅し参考となるように、また、地域や施設によって異なる救急医療の取り組み方の標準化を図ることも意図されている。内容は中毒に限らず、脳出血などの救急疾患や外傷なども含む。
					今日の整形外科治療指針 第3版	山内裕雄、編	医学書院	1995	16000	別	専門の臨床家による「私の処方」集というべきもの。各系統別の疾患の概念,診断,治療法を紹介している。項目数は611項目、写真も多用されている。
					今日の産婦人科疾患治療指針	-	医学書院	1989	12000	別	専門の臨床家による「私の処方」集というべきもの。各系統別の疾患の概念,診断,治療法を紹介している。
					今日の消化器疾患治療指針	多賀須幸男、他編	医学書院	1991	13000	別	今日の治療指針では消化器疾患は約60項目が記載されているが、それではもの足りないため計画された書籍。本書で425項目と、かなりまれな病変も含まれている。専門の臨床家による「私の処方」集というべきもの。各系統別の疾患の概念,診断,治療法を紹介している。
					今日の神経疾患治療指針	亀山正邦、他編	医学書院	1994	24000	別	各科の第一人者の経験を生かして記載された「私の処方」集というべきもの。各系統別の疾患の概念,診断,治療法を紹介している。
					今日の皮膚疾患治療指針 第2版	池田重雄、他編	医学書院	1996	17000	別	皮膚疾患を診る機会の多い医師には、皮膚疾患に関する幅広い知識と情報が必要であるため企画出版された書籍である。対象は、外来で遭遇する疾患であれば稀なものも含み、皮膚疾患に関するエンサイクロペディアを目指した書籍である。各系統別の疾患の概念,診断,治療法を紹介している。
					今日の循環器疾患治療指針 第2版	細田達一、総編	医学書院	2001	9800	別	今日の治療指針では循環器疾患が約50項目が記載されているが、より詳細で実用的な便覧が必要であることから作成された。本書は、循環器疾患370項目の問題点をあげ、専門の臨床家により具体的に治療を記載した「私の処方」集というべきもの。各系統別の疾患の概念,診断,治療法を紹介している。
				60			循環器疾患最新の治療	杉本恒明、監	南江堂	1998	10000
呼吸器疾患最新の治療1 1998-2000	工藤翔二、他編	南江堂	1998					9000	別	各疾患について、診断と検査,治療方針,処方例などが記載されている。ピックスには、新しい治療方法が記載されている。年代を限定し、新しい治療法がわかる。	
消化器疾患最新の治療2 001-2002	戸田剛太郎、他編	南江堂	2001					10000	別		
皮膚疾患最新の治療2001-2002	堀嘉昭、他編	南江堂	2001					8000	別		

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
09: 疾患・ 治療 薬剤が主	61		ポケット医薬品 集 1998年版	龍原徹	白文社	1998	4400	別	現在流通している医薬品を網羅し、適応症、用法・用量、使用上の注意などを実にソールにまとめた書籍。薬効分類はナジナルで実践向き。付録に長期投与できる疾患と薬剤、副作用の重篤度分類、半減期と消失率、体表面積による小児薬用量などがある。著者のノウハウが凝縮しているポケットサイズの医薬品集である。
	62		医薬品の使用 禁忌とその理由 改訂 4版	中野真 汎、監	医薬ソ ナル社	1998	4800	別	薬物療法をより安全に行うために、なぜ禁忌なのかその理由を把握した方がよいため、この書籍は、禁忌の中でも「投与しないこと」と「原則として投与しないこと」に限定し、その理由が薬品毎にまとめている。禁忌事項と薬品名から検索できる。
	63		内科治療薬ハ ンドブック 第2 版	橋本信 也、編集	羊土社	1999	5900	別	総論と各論からなる。本書の大部分は各論であり、各論では薬効ごとに「疾患と薬」「薬理作用」「分類と特徴」「主要薬剤一覧」についてまとめられている。イラストによる作用機序の解説に薬剤一覧表をプラスした形式である。
	64		眼科薬剤ケイ クイファナス	大橋裕 一、他著	南江堂	1997	3296	-	眼科用薬剤に関する情報を要領よく入手できるようにまとめたハンドブックである。目次は次の通りである。I.点眼および全身投与薬、II.全身投与薬、III.手術用薬、IV.検査薬剤、V.病棟管理。「秘密の処方箋」には、角膜心筋症や急性網膜壊死など19の疾患における処方例が紹介されている。一口メモには、MRSA感染症の特効薬など執筆者の番外編ノウハウが記載されている。眼科薬剤主体の書籍である。
	65		今日の治療 薬 解説と便 覧 '97	水島裕 、他編著	南江堂	1997	4400	別	薬効別に、まず疾患の解説と治療薬の解説が記載されている。図表が多く用いられており、薬効に該当する医薬品の組成・剤型・容量、用量、適応症、禁忌、相互作用、副作用などの一覧表が記載されている。巻末には識別コード一覧表が記載されている。B6版サイズ。コンパクトなサイズに、疾患、治療薬の解説が記載されている。
	66		抗生物質療 法ガイド -縮 刷版-	Medical Practice 編集委員 会、編	文光堂	1996	7000	本体	抗生物質は種類や対象疾患が多く、いかにして最小で最大の効果をあげるかといったことや、耐性菌の出現などが問題となり、これらを解決すべく企画された書籍である。目次は次の通りである。「1.抗生物質療法を始める前に」、では投与ルート、投与法、投与量、投与期間の設定の目安とポイントや投与中止のタイミングなど基本的なことが解説。「2.抗生物質の特徴と使いかたのコツ」、では抗生物質の系ごとに解説。「3.抗生物質療法の実際」では疾患や、菌別に抗生物質の使い方について解説。抗生物質療法の実用書である。
			治療薬ガイ ド 1999-2000 これだけは 必要な治療 薬の選びか た・使いかた	Medical Practice 編集委員 会、編	文光堂	1999	7500	別	短時間のうちに多種類の薬を科学的臨牀的に選択し、患者の状態にあった使用法を把握し、最良の治療に向けて薬を用いることができるように心がけた書籍。治療疾患別に薬の基本的知識すなわち一般名、商品名、剤形、用法・用量、適応、特長、使い分け、副作用、禁忌、使用上の注意の一覧表と実用的な使い方の解説からなる。解説は、薬を使用する前に確認する事項、病態に応じた使い方、効果判定の指標、薬の変更の指標と方法、副作用のチェック方法、薬の使用期間等で実際に薬を使う場合にぜひ欲しい情報が記載されている。事項と薬品名から検索可。A5版サイズとコンパクトなサイズに、疾患、治療薬の解説が記載された実用書である。
	67		薬剤師のため の服薬指 導ガイド 2版	和田攻、 他編	文光堂	2000	8000	別	総論と各論からなる。総論では服薬指導のあり方など基本事項や、服薬指導の考え方について記載。各論は疾患別に医師と薬剤師による解説が記載されている。医師による解説は疾病の背景や予後、薬物療法の実際としてその処方例、また薬剤師への要望である。薬剤師による解説は、患者に確認・説明・モニターすべきこと、薬理作用である。一般名・商品名、用法・用量、効能・効果、警告・禁忌、主な副作用、相互作用などの一覧表もあたる。1冊で非常に多くの情報が入手できるよければりな内容で、個人で持つにはよい書籍である。
	68		薬効別 医薬 品の適正使 用指針	高杉益 充、編	医薬ソ ナル社	1996	4757	別	薬効群ごとに、医薬品の適正使用をまとめた書籍。薬効群内での特徴の一覧表は、各薬剤を比較する際に役に立つ。
	69		抗生物質治 療マニュアル 2th	古川恵一 訳	MEDSI	1994	3300	別	GUIDE TO ANTIMICROBIAL THERAPY の訳本。表1では起因菌が未知の場合に、臓器毎に頻度の高い起因菌をリストアップしてある。また、表2では起因菌に対してどの抗生物質がもっとも適切であるかを記載、表3では各種感染症に対する抗生物質の投与期間について記載されている。抗生物質の治療に役立つ一覧表が全部で30ある。
	70		YELLOWBOOK 1 医薬品「使 用上の注意」 の解説 抗微 生物薬	高橋隆 一、監修	ミクス	1995	4500	別	医療用医薬品の先発品を対象に、「使用上の注意」の項目のうち、警告、一般的注意、禁忌、原則禁忌、慎重投与、相互作用、高齢者、妊婦・授乳婦、小児、臨床検査値の理由を解説した書籍である。副作用、適用上の注意、その他の項目は含まれない。
			YELLOWBOOK 3 医薬品「使 用上の注意」 の解説 抗癌 剤	高橋隆 一、総監 修	ミクス	1998	4800	別	
71		ミクス薬学シ リーズ (2)薬物 治療学	高橋隆 一、他監 修	ミクス	1997	7500	別	疾患を中心とした医薬品治療を理解するために編集された書籍。疾患概念、治療の原則、処方例などについては医師が記載。各医薬品の使用法、使用上の注意など処方解説は薬剤師が記載。医師と薬剤師がそれぞれの職業の観点から記載している。	
72		'99年版 医 者からもら った薬がわ かる本	木村繁	法研	1998	2150	別	一般向けに出されたもので、識別(抗がん剤についても識別可能)から効能効果、服用方法、副作用等が解説してある。1996年10月の日本医師会雑誌、正しい薬の使い方にてきた品目については、アメリカ、ドイツでの販売状況を点数化して記載されている。	

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名>	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
09 5: 疾患・治療 薬剤が主	73		歯科におけるくすりの使い方	佐々木次郎,他編集	デンタルダイアモンド社	1995	5825	別	歯科領域で使用する薬や、歯科領域で問題となる他科の薬について記載されている書籍。目次は次の通りである。I. 知っておきたいくすりの話題。II. くすりの知識。III. 他科でよく使われるくすりの知識。IV. 疾患別のくすりの使い方。V. 特定の患者への処方と投薬上の注意。
	999		クニカ・ビルデックス日本語版	日本クニカビルデックス編集委員会	日経BP社	2001	8800	別	
10 5: 疾患・治療 海外	74		APPLIED THE RAPEUTICS THE CLINICAL USE OF DRUGS 7Ed	Mary Anne Koda-Kimble et al	Applied Therapeutics Inc.	2001	22260	込	各疾患ごとにまず疾患の概略を述べ、次に診断や薬物治療について症例を提示しながらQ&A方式で記載されている。症例は非常に具体的で、この症例を基に派生する臨床的問題についての質問、例えば疾患自体の問題点、薬剤の種類や効果、使用方法や副作用から患者指導に至るまで非常に細かく質問が設定されている。クニカファーマの自己学習用教材としても非常に有用。疾患名、症状名、医薬品名、副作用名から検索できるが、各章の始めに目次があって各質問番号がわかる。アメリカの臨床薬学における3種の神器。
	75		Clinical Pharmacy & Therapeutics	Gourley D.R., Herfindal E.T., Hart L.L.	Williams & Wilkins	1989	13900	別	疾患別の薬物治療の実際を臨床薬学的見地から詳しく述べてある。workbookが付録としてついており症例を提示してその解説とSOAP方式での考え方を訓練できるようなシステムになっている。アメリカの臨床薬学における3種の神器。
	76		Handbook of Applied Therapeutics	Mary Anne Koda-Kimble et al	Applied Therapeutics Inc.	1992	6300	別	APPLIED THERAPEUTICS THE CLINICAL USE OF DRUGS 5EDのポケット版。現場ですぐに見れる一覧表が主体となった書籍。
	77		Pharmacotherapy: A pathophysiological approach	DiPiro J., Talbert R., Hayes PE., Yee GC., Michael Posey L	ELSEVIER	1988	15000	別	病態生理、薬物療法の実際等について詳しく述べられている。参考文献も非常に豊富。アメリカの臨床薬学における3種の神器というべき書籍。
11 0: 特殊病態時の薬物療法	78		Drug Therapy 1. 腎障害患者への投薬	清水直容、総監	ミクス	1988	2400	別	Drug Therapy「クニカ・ビルデックス」は、ある疾患をもつ患者に、別の疾患の薬を投与する場合、何を投与するかが記載されているシリーズである。特殊病態時の治療に関する情報が入手できる。
			Drug Therapy 2. 肝障害患者への投薬	清水直容、総監	ミクス	1989	2427	別	
			Drug Therapy 3. 血液障害のある患者への投薬	清水直容、総監	ミクス	1992	2427	別	
			Drug Therapy 5. 皮膚・結合織疾患のある患者への投薬	清水直容、総監	ミクス	1992	2427	別	
			Drug Therapy 6. 糖尿病その素因のある患者への投薬	清水直容、総監	ミクス	1988	2000	別	
11 1: 腎疾患・透析	79		CAPDの臨床(改訂第2版)	太田和夫,他編	南江堂	1994	9515	別	CAPDの原理、手技、合併症などCAPD全般にわたって記載されている書籍である。2. 腹膜灌流とCAPDの原理。3. 腹膜灌流における物質移動。4. CAPDシステムと灌流液。5. CAPDの適応、患者選択および評価。6. 腹膜灌流用カテーテルとその挿入法。7. カテーテルトラブルとその処置。8. CAPDの手技。9. CAPDの患者教育。10. 腹膜炎の処置。11. 腹膜炎以外の合併症。12. CAPDと栄養。13. 糖尿病性腎不全とCAPD。14. 高齢者(65歳以上)のCAPD。15. 小児の慢性腎不全におけるCAPDの実際。16. CAPDの変更。17. CAPDにおける薬物使用。18. CAPD患者と腎移植。19. CAPD患者と外科手術。20. CAPDの看護。21. CAPDの医療システムと社会復帰。
	80		腎疾患治療薬マニュアル <腎と透析Vol. 4 1(S), 1996>	-	東京医学社	1996	8252	別	腎と透析41(S), 1996. 腎疾患の治療や、腎不全患者における薬の使い方(例えば腎不全患者に向精神薬を投与する場合の使い方)など、腎障害のある患者に対して薬物療法を行う際どのような配慮が必要かの情報がえられる書籍。目次は次のとおりである。I. 腎疾患に使用する薬剤、II. 対症療法、III. 疾患別くすりの使い方、IV. 電解質異常に対するくすりの使い方、V. 救急処置、VI. 透析患者の合併症に対するくすりの使い方、VII. 腎移植、VIII. 腎不全におけるくすりの使い方、IX. 輸液剤・透析液・その他。腎障害時の薬物療法の情報が入手できる。
	81		特集 腎不全時の薬物使用2000 <臨床透析: 16(3)2000>	-	日本メディカルセンター	2000	4000	別	臨床透析16(3)2000. 腎不全(GFR10以下、10~50、50以上)患者、透析患者に対する薬物の投与量、投与間隔が薬効別に一覧表で記載されている。それ以外に未変化体排泄率、蛋白結合率などについての記載もある。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名>	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
11: 腎 疾 患 ・ 透 析	82		透析療法における合併症	越川昭三、編	医薬ジャーナル社	1994	18540	別	透析の合併症を約130の項目にわけ解説している書籍。透析合併症を網羅する辞典的な書籍。機序よりも臨床的対策に重点がおかれている。
	83		一目でわかる透析療法	鈴木洋通、他著	MEDSI	1995	2600	別	訳本ではない。左にイラスト、右に解説。わかりやすい図が特徴の一目でわかるシリーズの透析療法版。透析全般について理解するための書籍。この本からは薬物の投与量の情報は得られない。
	84		透析患者への投薬ガイドブック	岸本武利、監修	じほう	1999	2800	別	
12 0: 小 児	85		イラスト小児対応症々	鴨下重彦、監	文光堂	1990	3786	別	小児看護の内容をわかりやすく記載した書籍である。副題にもあるとおり「症状看護と生活援助技術の徹底図解」されている。子どもの発達から主要症状のケア、チェックポイントについてイラストを多く取り入れて解説。例えば処置についての基本チェックの項では、経口予薬、坐薬、軟膏、貼付、口腔塗布、点眼、点鼻、点耳、注射、輸血、吸引、吸入等のテクニックについて具体的なイラストで解説されている。
	86		今日の小児治療指針 第11版	-	医学書院	1997	15500	別	今日の指針の小児科編。今日の指針は、具体的に何を投与するかといった処方情報を得やすい書籍である。この書籍では、小児の疾患の病態、症状、診断について処方を交えて簡潔明瞭に解説してある。付録には、小児薬用量、市販薬一覧、小児医療公費負担制度がある。
	87		小児の薬理学	藤田昂、他著	南山堂	1992	5500	別	小児疾患の薬物療法を薬理学の立場からまとめた書籍。総論では、薬物の胎児への影響、薬物の母乳への移行、薬物動態、薬物療法に影響を与える要因、小児薬用量、服薬指導について述べ、各論では臓器別に疾患の解説、治療、投与量など使用される薬物の薬理作用が述べられている。小児の薬理学の書籍である。
	88		小児薬用量情報	中野眞汎、監	医薬ジャーナル社	1994	5200	別	小児の適正薬用量に関する情報は少ないが、現場では必要である。そのため、医薬品ごとに、添付文書の記載はもちろんのこと、記載がない薬剤では、現在得られる文献情報を収集し小児薬用量と文献情報をまとめた書籍。小児への投与量の情報をすばやく入手できる。
	89		イラストによるお母さんへの病気の説明と小児の診療	大塚親哉、編	南山堂	1992	8700	別	小児の服薬指導の書籍。イラスト編と、解説編からなり、小児疾患についてのわかりやすい説明がなされている。
	90		赤ちゃんってふしぎ	橋本剛太郎、著	医歯薬出版株式会社	1996	1262	別	赤ちゃんが産まれたばかりの若いお母さん向けにかかれたもので、「赤ちゃんとママ」という雑誌の連載をまとめた書籍。1.赤ちゃんと小児科医の出会い。2.生まれたその日から気になること。3.赤ちゃんの下半身。4.学問してみる。5.実践・病気が来た。からなる。母親が気になることについてわかりやすく解説されている。
			お母さんに知ってほしい子どもの口と歯のホームケア	緒方克也、他編著	医歯薬出版株式会社	1997	2500	別	歯や口の病気のことだけでなく、子供の口を健やかに育てることも目的とし、歯並びや噛み合わせなども記載されている。母親が気になることについてわかりやすく解説されている。
		お母さんに伝えたい子どものくすり安心ガイド	日本外来小児科学研究会、編著	医歯薬出版株式会社	1997	1800	別	日本外来小児科学研究会が作成した、子供の薬の説明に利用するためのパンフレット集。該当頁を北へすれば手渡せるようにレイアウトされている。	
		お母さんに伝えたい子供の病気ホームケアガイド 補訂版	日本外来小児科学研究会、編著	医歯薬出版株式会社	1997	2000	別	日本外来小児科学研究会が作成した、子供の病気の説明に利用するためのパンフレット集。該当頁を北へすれば手渡せるようにレイアウトされている。	
12 1: 高 齢 者	91		Drug Therapy 9. 高齢者への投薬	清水直容、総監	ミクス	1990	2427	別	Drug Therapyシリーズの高齢者版である。例えば、Aという疾患をもつ高齢者に対して薬物を投与する場合、何をどの位投与するかが記載されている。ホケットサイズのコンパクトな書籍。高齢者の薬物投与についての情報がまとめられている。
	92		高齢者への調剤と与薬の実際	東京都病院薬剤師会	じほう	1994	3107	別	第1章では老人の生理と代謝機能など老化現象からはじめ、老人の疾患と病態、老人心理について記載。また、老人と薬の関係を薬物動力学と薬力学の両面から解説している。第2章では調剤の実際、第3章では与薬についても記載。高齢者に対する薬物の投与量が記載されているわけではない。
	93		高齢者医療マニュアル 第2版 日本語版 第1版	福島雅典、総編	メディカルブックサービス	1997	15000	別	高齢者医療マニュアルの訳本であり、この書籍の意図するところは、高齢患者の治療を行う全ての医師に臨床関連情報を提供することである。病気の解説、症状、診断、治療などが記載されている。高齢者医療マニュアルの訳本であり、日本語で海外の情報を入手することができる書籍である。
13 0: 妊 婦 ・ 授 乳 婦	94		催奇形性等発生毒性に関する薬品情報 第2版	西村秀雄、監	東洋書店	1986	38000	別	妊婦に対する使用上の注意の詳細な注解書。動物実験データを含む、多数の文献情報が網羅性高く記載されている。薬剤の母乳移行、胎盤通過性、薬物動態学的知見等についても記載されている。収載薬品数は、一般名で2692。国内では、厚生省医薬品副作用情報、添付文書、新開発医薬品集や個々の医学論文等を情報源とし、国外では、PD R,AMA-DE,Martindale The Extra Pharmacopoeia,Meyler's Side Effects of Drugs等を情報源としている。
	95		実践 妊娠と薬1,173例の相談事例とその情報	佐藤孝道、他編	じほう	1992	6311	別	虎の門病院の妊娠と薬相談外来での経験と実践をもとにして、胎児への薬剤の影響についてまとめたもの。虎の門病院における実際の対応がわかり参考になる。薬剤の危険度評価、各種文献や相談事例、服用後の対応、患者への対応等必要な情報が具体的に記載されている。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容	
13 0: 妊婦 ・ 授乳 婦	96		妊娠期授乳 期 医薬品の 安全度判読 事典	小澤光, 他監訳	西村書店	1992	15000	別	Drugs in Pregnancy and Lactation 2ndの訳本。妊婦を診療する 臨床医向けに書かれた書籍で、妊婦に対する安全度評価と胎児へ の影響、授乳児への影響が豊富な文献をもとに記載されている。妊 婦に対する薬剤のリスクをABCXの5段階評価と文献データがまと められている。	
	97		妊娠中の投 薬とそのリ スク	雨森良 彦、監	医薬品治 療研究会	1990	700	別	オーストラリア政府機関(オーストラリア医薬品評価委員会先天的異常部会)が作 成した妊娠中における薬のリスク評価基準である。書籍は第1版で あるが、第2版は、The Informed Prescriber 第7巻7・8,9,10号に紹 介されている。妊婦に対する薬剤のリスクを5段階でコンパクト にまとめている。	
	98		慢性疾患患 者の妊娠 - 産科医との 連携のとり 方	-	-	-	-	-	-	臨床と薬物治療17(2),1998。長期にわたって薬物療法を行う慢性 疾患を対象とし、疾患別に妊娠の可否、薬物の胎児に対する影 響、妊娠中の管理、産褥期の管理など、妊娠と原疾患の影響や、 妊娠を告げられた場合の対応などが解説されている。臨床と薬物 治療の妊婦の特集号は、専門医師の貴重な情報を提供してくれ る。薬の投与がどうしても必要とされる妊婦に対して何を投与し たらよいか記載されている。
			特集 妊婦へ 何を投薬す べきか-その 第一選択と 第二選択-	-	ミクス	1995	1845	別	臨床と薬物治療14(1),1995。「妊婦に向精神薬を投与する場合、私は これを選ぶ」という医師の意見が記載されている書籍である。前半 は「妊婦に解熱鎮痛消炎剤を選ぶとき」など薬効別に薬剤選択の ポイントが解説され、後半は「妊婦の高血圧への対応」など慢性 疾患の妊娠中の対応について記載されている。薬の投与がどうし ても必要とされる妊婦に対して何を投与したらよいか記載されて いる。	
	99		薬剤の母乳 への移行 3t h	菅原和 信、他著	南山堂	1997	8200	別	薬を服んだときの乳児への影響についての回答を得るために参考 となる臨床データ、動物試験の結果がまとめられている書籍。総 論では、母乳の産生機構、母乳の分泌機構、薬剤の母乳への移行に 関する因子、乳児への薬物移行のファーマコキネティクスについて記載されてい る。また各論では、添付文書、PDR,AMA,Martindaleといった書籍以外 に、文献のデータも記載されている。	
100		妊婦と薬物 治療の考 え方-投与時 の注意と禁 忌-	松田静 治、編集	グアン ティカ ル		3800	別	6.妊婦が感染症にかかった場合の処置と対策、8.合併症妊娠とそ の対策などでは、何を選択したらよいかといった情報が記載され ている書籍である。薬の投与がどうしても必要とされる妊婦に 対して何を投与したらよいか記載されている。		
14 0: 妊婦 ・ 授乳 婦 海外	101		Drug Safety in Pregnan cy	Folb P., Grahamdu kes M.N.	ELSEVIER	1990	47300	別	各薬剤について動物実験でのデータ、人での先天奇形、新生児への影 響、母体への影響、勧告、結論等が文献をもとに記載されている。	
	102		Drugs and H uman Lactat ion	Bennett P.N.	ELSEVIER	1988	43300	別	各薬剤について、半減期や実際のデータ、母乳中への移行、乳児への影 響について記載されている。	
	103		DRUGS IN PR EGNANCY AND LACTATION third editi on	Briggs G.G.,Fre eman R. K.,Yaffe S.J.	Williams & Wilki ns	1990	17000	別	各薬剤について胎児へのリスク、母乳への移行について沢山の文献を もとに解説している。ミラーの副作用大事典の姉妹本。	
	104		漢方薬務指 針 改訂4版	日本薬 師会	じほう	1997	5000	別	薬局製剤のうち漢方製剤の処方全てについて詳しい解説がされ、 実務に即応すべく編集された書籍である。今回の版では、生薬名 から処方を検索できる構成生薬別索引が追加された。	
14 5: 漢 方	105		漢方薬の薬 能と薬理	谿忠人	南山堂	1991	5000	別	総論と各論からなり、総論では、第2章、中医学と日本漢方の陰陽虚 実の字義と用法。第3章、経過弁証および配剤生薬による処方の分 類。第4章、病理弁証および薬能による処方の分類。各論では、悪寒 、熱感、冷え症、冷えのぼせ症などの処方、病理などについて記載され ている。処方の分類と、処方・病理の解説が記載されている。	
	106		薬局製剤 漢 方212方の使 い方 改訂4 版	埴岡博、 他著	じほう	1994	3301	別	薬局製剤のうち漢方製剤の処方全てについて解説がされている。 各品目ごとに、出典、構成、目標、応用、留意点、文献、成分・ 分量、効能・効果が記載されている。	
	107		漢方薬理学	高木敬 次郎、監 修	南山堂	1997	9400	別	漢方薬の薬理作用を重視した書籍である。前半では漢方薬の基本 的知識から研究上の諸問題が記載されている。後半の各論では、 生薬ごとに基原、成分、薬理、適用、処方、文献が記載されてい る。	
14 7: 消 毒 ・ 感 染 防 止	108		医療廃棄物・ 誤刺による 感染防止対 策	小林寛 伊、他著	広川書店	1992	2900	別	医療廃棄物をいかに処理し、消毒法・滅菌法はいかにすべきか、 これらの問題を解決するための参考となる書籍。医療廃棄物の処 理法と誤刺の対策について詳しく述べられている。	
	109		院内感染対 策Q&A 現場 からのMRSA 感染対策の 疑問に答 える	厚生省健 康政策局 指導科、 監	へるす 出版	1997	2200	別	MRSAの感染防止の書籍。ファクシミリによる施設内感染対策相談窓 口によせられた97のMRSAに関する質問と答えをQ&A形式でわかりや すく編集したもの。第6章では福祉施設や地域活動におけるMRSA感 染対策について記載されている。	
	110		院内感染対 策マニュアル 改 訂第2版	院内感 染対策研 究会、編	南江堂	1992	3592	別	院内感染と対策に関する厚生省科学研究班によるマニュアルである。院 内感染のサーベイランス、疫学、環境対策と院内感染症についての日常 の臨床業務に必要な事柄について記載されている。	
	111		院内感染防 御マニュアル	竹田美 文、監	じほう	1996	3107	別	医療に従事する人が十分な知識をもち、現場の一人一人が何を何 をいかにすべきかをまとめたマニュアル。Part 1は細菌やウイルス の性状・感染経路などが解説。Part 2は、職場あるいは病棟別 に実施されている感染防御について解説されている。院内感染対 策の書籍である。	
	112		消毒薬の使 用指針	日本病 院薬師 会、編 集	薬事日 報社	1999	4000	別	旧、院内における消毒剤の使用指針。1.消毒薬の基礎知識編。2.消 毒薬解説編。3.消毒に関するQ&A。Q&Aは全部で157。4.付録。消毒剤に よる医療事故防止について、消毒薬使用実態調査、市販消毒薬商品 名一覧、参考文献一覧。	

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
14 7: 消毒 ・ 感染 防止	113		消毒剤の選 び方と使用 上の留意点	神谷晃、 他著	じほう	1992	3301	別	山口大学医学部付属病院のDIセンターのDI活動の中で消毒剤の選 び方を中心としたものを集積したもの。70以上の文献を多数 引用してながら様々な場面における消毒の実際について図・表・イラスト を交えて詳しく解説している。チェックポイントを設けている。消毒剤全 般にわたって記載されている。
	114		ポケット版 感 染対策ハンド ブック	小林寛伊 編著	小学館	1997	2400	別	目次は次の通りである。I. 感染性微生物の基礎知識。II. 感染防止 の基礎知識。III. 滅菌。IV. 消毒。V. 抗菌薬の基礎知識。VI. 病院 感染対策の基本。VII. 術後感染対策。VIII. 血中微生物感染対策。 IX. 問題の感染症対策。からなる。感染対策のコンパクトな書籍で ある。
	115		消毒剤 基礎 知識と臨床 使用	高杉益 充、他編 集	医薬ジャー ナル社	1993	4800	別	消毒剤は種類によって対象菌種性や感受性が異なったり、保存容 器の材質との関係が異なるなど適正使用にあたって十分な知識が 要求されるため作成された書籍である。目次は次の通りである。 I. 総論、II. 感染と消毒、III. 各科領域における滅菌・消毒、I V. 各種消毒剤の基礎知識からなる。消毒剤全般にわたって記載さ れている。
14 9: 検査 関係	116		異常値の出 るメカニズム 第 4版	河合忠、 他編	医学書院	2001	5800	別	検査を効率的に行うには、最小限の検査を十分診療に反映するこ とである。そのためには、異常値のメカニズムの理解が必要である 。この書籍は「なぜ異常値を示すのか」という疑問に答えてくれる 。
	117		正常値と異 常値の間 - その判定と 対策- 改訂4 版	河合忠 編集	中外医学 社	1995	12978	-	検査値の見方、ならびに誤差とその要因、生理的変動、性・年齢によ る変動など境界値の読み方が記載されている。
	118		基準値・診断 マニュアル	中井利 昭、著	中外医学 社	1996	6700	別	保険適用の検査すべてが対象となっている。各検査の意義と疾患 のつながり、基準値、小児の正常値、異常値を示す疾患が原則1 検査1頁とコンパクトにまとめられており見やすい。ポケット版。 手に取りやすい検査の書籍である。
			ナースのポ ケットに強い味 方 臨床検査へ のサポート	中井利 昭、著	南山堂	1994	2900	別	基準値・診断マニュアルのナース版。保険適用の検査すべてが対 象となっている。検体検査では検体の取り扱い方、生理機能検査 では検査のときの準備・注意点があわせて記載されている。ポケ ット版。手に取りやすい検査の書籍であり検体の取り扱い方も記 載されている。
119		臨床検査が イデオロギ ーだけには必要 な検査の進 め方・データの よみかた	medical practice 編集委員 会	文光堂	1998	7000	別	年々臨床検査の種類や数は増加しているが、それらの検査を適切 に効率よく用いるためには、簡便に用いることができ、かつ内容 が充実している実用書が必要であることから作成された書籍である 。見出しは検査データで、検査データから何がわかり、どのような疾 患の可能性があるか、異常がみられた場合どのように対処したらよ いかが記載されている。情報量は多く、使いやすい実用書である。	
15 0: 副作 用	120		SIDE EFFECT S OF DRUGS ANNUAL & ME YLER'S SIDE EFFECTS OF DRUGS 14TH	M. N. G. DUKES	ELSEVIER	2000	32760	込	ワグ 薬物評価委員会副会長M.N.G.デュクス編集になる医薬品の有 害作用および相互作用に関連する研究報告を総括した有名専門書 である。この姉妹書Side Effects of Drugs Annualは毎年1月に発 行されており、この領域での最近の進歩を多数の文献を添えて厳密 に検討したものが収載されている。一般名、副作用名から検索でき る。英語版13版。日本語版12版。
			SIDE EFFECT S OF DRUG A NNUAL	Dukes M. N.G., Bee ley L.	ELSEVIER	9999	33450	別/24th	Meyler's Side Effects of Drugsの姉妹書として年1冊刊行。
			メイトー 医薬品 の副作用大 事典 第12版	中井健 五、訳	西村書店	1998	40000	別	ワグ 薬物評価委員会副会長M.N.G.デュクス編集になる医薬品の有 害作用および相互作用に関連する研究報告を総括した有名専門書 である。この姉妹書Side Effects of Drugs Annualは毎年1月に発 行されており、この領域での最近の進歩を多数の文献を添えて厳密 に検討したものが収載されている。一般名、副作用名から検索でき る。英語版13版。日本語版12版。
	121		医薬品トキシ コロジー	佐藤哲 男、他編	南江堂	1996	3800	別	医薬品の副作用・有害作用に関する問題を学際的な情報をもとに して解決するとともに、そのメカニズムを最新の科学に照らして 解明することの重要性を理解させることを意図して作成された書 籍。2章では、「排泄が原因で問題となった例」といったように、体内 動態と具体例が一緒にあげられている。3章では、肝障害、腎障害など 器官毎の副作用や、免疫毒性、アレルギー障害などについて解説され ている。ポリウムが手頃なトキシコロジーの書籍である。
	122		がん化学療 法の副作用 対策・改訂版	吉田清 一、監	先端医学 社	1996	12360	別	副作用対策の書籍。癌化学療法の副作用とその対策について豊富な 文献をもとにまとめられている。目次は次の通りである。I. がん 化学療法と副作用概論では、がん化学療法の概論と、副作用対策 概論からなる。II. 臓器別および各種がん化学療法の副作用対策で は、副作用を臓器別にその原因、対策などが記載されている。
			がん化学療 法の副作用 対策ハンド ブック	吉田清 一、監	先端医学 社	1993	3399	別	コンパクトなハンドブック。
123		薬の副作用チ ェックマニュアル 第 2版	高橋隆 一、編	中外医学 社	1998	6600	別	著者が中央薬事審議会の副作用調査会において副作用症例を検討 した経験をもとに作成された書籍。副作用について解説した後に、 症例が記載されている。また、副作用のチェックポイントではチェックに必要な 臨床的所見と検査、原因となる主な薬剤も記載されている。主な副 作用は臓器別にほぼ網羅し、解説されている。	
124		抗癌薬の併 用薬 作用増 強と有害反 応軽減 <医 学の歩み184 (5), 1998>	-	医歯薬出 版株式会 社	1998	4500	別	医学のあゆみ184(5), 1998. 抗癌薬の併用薬を、1. 作用増強のため の併用薬、2. 有害反応軽減のための併用薬、3. 癌の症状緩和・栄 養管理にわたって記載されている。抗癌剤の副作用軽減を主眼と した書籍はあるが、抗癌剤の作用増強について扱われている書籍は 少ない。	

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
15 0: 副作用	125		この薬のこの副作用 2版	松田重三、編著	医歯薬出版	2000	6000	別	現在多用されている薬の覚えておくべき副作用をまねなものを含めてまとめたもの。目次は大まかな薬効分類ごとに薬剤と具体的な副作用の名前が挙がっている。各項目の下には主な商品名も記載されている。索引は、薬剤の一般名や商品名から及び副作用の症状から検索できる。中身は、その副作用の出現するメカニズム、その対策、似た作用を有するその他の薬、その他注意すべき副作用となっている。
	126		重大な副作用回避のための服薬指導情報集 1	日本病院薬剤師会、編	じほう	1997	2800	別	添付文書の重大な副作用に記載されている副作用用語について、すぐにでも患者指導に使えるような言葉で初期症状が記載されている書籍である。項目は「患者指導の実際」「副作用の概要」「副作用発現頻度」「典型的症例報告」である。索引は通し索引である。
			重大な副作用回避のための服薬指導情報集 3	日本病院薬剤師会、編	じほう	1999	2800	別	
			重大な副作用回避のための服薬指導情報集 2	日本病院薬剤師会、編	じほう	1997	2800	別	
	127		副作用症例データベース 医薬品情報提示の新しい試み <診断と治療84(S)>	-	診断と治療社	1996	12000	別	現場の臨床医が薬剤を使用する際に、どのような副作用が起こりうるかを症例に即して学ぶことを目的とした書籍。およそ950の副作用の症例報告がまとめられている。キーワードや薬剤名をCD-ROMで検索できる。副作用の情報提供するときに症例報告が参考になるが、この書籍にはたくさんの症例がのっている。
	128		副作用症状とその原因薬剤	高杉益充、監	医薬ジャーナル社	1991	7767	別	1982-1988年前半(追補では1989-1990年)に国内・国外雑誌に報告された副作用症例を副作用症状別にどのような薬剤で起こったのかを書誌事項とあわせてまとめたもの。目次は、副作用の起こる器官別で、索引は、一般名の英名と副作用症状から検索できる。内容は、副作用症状名と一般名の英名、主な商品名、薬効、文献番号の一覧表となっていて、その表の下に文献の書誌事項が羅列されている。したがって、それ以上の情報は各文献を参照しなければ詳しいことは解らない。最近では追補が発刊されていないため、網羅性が売りの本書としては新しい情報の入手ができない。残念なことである。
			副作用症状とその原因薬剤 追補1	高杉益充、監	医薬ジャーナル社	1992	4500	別	
	129		薬剤副作用軽減化の工夫	垂井清一郎、高杉益充、編	医薬ジャーナル社	1995	4800	別	副作用の理解を深める上で、十分でかつ整理された情報源が必要とされていることから企画された書籍。副作用をいかに少なくするか、各薬剤毎に副作用を軽減化するための種々の方法、他薬剤との併用や、投与期間、投与量、投与方法の工夫などが解説されている。索引はそれぞれ別で、対象医薬品も別である。
			続・薬剤副作用軽減化の工夫	垂井清一郎、高杉益充、編	医薬ジャーナル社	1990	4369	別	
			新・薬剤副作用軽減化の工夫	高杉益充、編	医薬ジャーナル社	1995	4800	別	
	130		重大な副作用とそのモニタリング	伊賀立二、企画編集	じほう	1998	3400	別	月刊薬事40(4), 1998. 副作用の総説がまとめられている書籍である。第II章、器官別にみた薬の副作用。第III章、薬物からみた服薬指導とモニタリング、第IV章、副作用からみた服薬指導とモニタリングはともにメカニズム、臨床所見、服薬指導とモニタリング、対処、同様の副作用をおこす可能性のある薬剤などがまとめられている。第V章、注意すべき副作用と薬剤一覧表。
	131		最新 脳と神経科学シリーズ 薬物が起こす神経障害	高倉公朋 他監修	メディカル・ブックス社	1997	9000	別	神経系の副作用を詳細にまとめた書籍である。目次は次の通りである。I. 薬物性神経障害総論。II. 神経系副作用：診断上の問題点と副作用情報の検索。III. 薬剤性運動異常症 (drug-induced movement disorder)。IV. 薬剤性感覚障害。V. 薬剤性白質脳症 (drug-induced leukoencephalopathy)。VI. 覚醒剤中毒の臨床。VII. 薬物依存。VIII. 過去の大型薬害から学ぶこと。
	132		薬の神経・精神に対する副作用	-	南山堂	1996	7210	-	薬による中枢性けいれんとせん妄だけに的をしぼって、その症例と、副作用発現機構について詳細にまとめられた書籍である。目次は次の通りである。I. 薬による中枢性けいれん。II. 薬によるせん妄。
133		緊急安全性情報	各メーカー	各メーカー	9999	0	-	緊急安全性情報とは特に緊急かつ重篤な情報伝達が必要とされる情報で、薬務局安全課長名で配布の指示がなされ、企業は4週間以内にその薬を納入した医療機関にMRを派遣して、文書の配布、説明を行わなければならない。1987-1993年にだされた緊急安全性情報とその該当医薬品の添付文書を集めた緊急安全性情報集(財団法人日本医薬情報センター出版)もある。	
17 0: 相互作用	134		医薬品相互作用 第2版	仲川義人、編	医薬ジャーナル社	1994	12000	別	添付文書に記載されている相互作用について文献検索し、臨床および非臨床データ、機序が記載されている。また、Drug Interactions & Updates Quarterly(Applied Therapeutics Inc.)、Drug Interaction Facts(J. B. Lippincott Company)、Evaluations of Drug Interactions(The C.V. Mosby Company)の3種類の書籍の相互作用ランクも記載されている。索引も主に記載されているところは太字となり使いやすくなった。相互作用の書籍としては非常によい。
	135		飲食物・嗜好品と医薬品の相互作用 改訂3版	「飲食物・嗜好品と医薬品の相互作用」研究班 編	じほう	1993	3800	別	厚生省共同研究の一環として「飲食物・嗜好品と医薬品相互作用」研究班が行った文献調査を基に、医薬品と飲食物の相互作用が記載されている。各論で報告の概要、文献、臨床評価(相互作用の強さによって3段階に分類)が記載されている。総論お茶と鉄剤、ワファリッドと納豆、牛乳と薬剤、薬物の吸収に及ぼす食事の影響などについて記載されている。飲食物・嗜好品、一般名から検索できる。医薬品と飲食物との相互作用の資料は雑誌の特集号を含めいくつがある。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名>	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
17: 0: 相 互 作 用	136		薬と検査成績	林康之、 編著	中外医学社	1988	7000	別	薬物の検査値への影響のうち、直接妨害の有無をまとめたもの。症例、参考文献が豊富である。薬の検査値に及ぼす影響についてまとめられている。
	137		薬の相互作用としくみ 3版増補	杉山正 康、編著	医歯薬出版	2000	5000	別	相互作用を詳しく解説した書籍。A×Bの相互作用について解説される他の多くの書籍と違い、薬物相互作用を薬動態学的相互作用、薬力学的相互作用にわけ解説されている。カバク置換による相互作用では、単にカバク結合率の高い薬剤同士が危険なのではなく、弱酸性薬剤、弱塩基性薬剤といった性質まで考慮した相互作用が解説されている。相互作用の考え方など興味深い。
	138		97年版 相互作用ガイドブック	株式会社 メディカル スト、編	データ ックス株式 会社	1997	2428	別	主に添付文書をもとに、相互作用ならびに相互作用に関連するものは抽出し、網羅的に記載している。一覧表で簡便に記載した書籍。機序の記載はない。
	139		薬物間相互作用と医薬品の適正使用 <月刊薬事Vol38(No 3), 1996>	伊賀立 二、監	じほう	1996	3786	別	月刊薬事の1996年2月臨時増刊号である。1.薬物間相互作用の基礎知識。2.処方設計と処方監査に必須の薬物間相互作用知識。3.薬物間相互作用研究の問題点と今後の展望。4.薬物間相互作用に関する薬品情報の医師、薬剤師への提供の問題点と今後の展望。5.薬物間相互作用に関する薬品情報の患者への提供からなる。相互作用の総説がまとめられている。
	140		薬物相互作用早見 1997	藤田昂、 監	薬事新報社	1997	4400	別	医薬品の添付文書中「使用上の注意」の相互作用に記載のある医薬品ほとんどすべてを対象として網羅的に一覧表形式でまとめたもの。薬効順に配列されている。機序の記載はない。
	141		臨床医のための薬の相互作用とそのマネジメント	伊賀立 二、監	南山堂	1996	3600	別	クリミアの連載に加筆訂正した24の相互作用について症例報告、機序、回避法、文献が項目立てて記載されている。文献は豊富。ニューキノロン系抗菌剤と非ステロイド性消炎鎮痛剤併用による中枢性痙攣では、マウスに各種ニューキノロン系抗菌剤と非ステロイド性消炎鎮痛剤を併用したとこの痙攣誘発性を検討したデータも示されており参考になる。相互作用について詳細な解説がされている。
18 0: 相 互 作 用  海 外	142		DRUG INTERACTIONS ANALYSIS AND MANAGEMENT	Hansten P.D., Horn J.R., Lea & Febiger	Applied Therapeutics	9999	17500	/年	旧Drug Interactions & Update.相互作用の機序、処置、その臨床的意義が記載されている。ムズリフ式でUpdateされる。文献が豊富。相互作用を「避ける組合せ」から、「相互作用なし」までの5段階評価が記載されている。
	143		Drug Interactions Facts	Mangini. R.J.	J. B. Lippincott Company	9999	26250	/年	薬物相互作用のデータ・スメリPHORの内容の冊子体。ムズリフ差し替え式。相互作用を5段階にわけ評価が記載されている。数字が小さいほど重要な相互作用である。
	144		Effects of Drugs on Clinical Laboratory Tests 3ed.	Donald S.Y.	AACC PRESS	1990	20000	別	薬が検査値に与える影響について内因的および外因的(分析法)にわけて文献を紹介している。記載内容は分析方法、投与量、期間、症例数、背景、マリ。
19 0: 中 毒 ・ 毒 性	145		過量投与時の症状と治療 第2版	清藤英 一、編	東洋書店	1990	18000	別	PDRとMartindale The Extra Pharmacopoeia 28thの情報をもとに、1598品目の薬剤別に過量投与時の症状、治療、症例、文献をまとめている。
	146		急性中毒情報ファイル 第3版	大垣市民 病院薬剤 部	広川書店	1996	18000	別	大垣市民病院作成の中毒情報カードがもと。原則として1項目1ページに品名、成分、中毒量、作用機序、構造式、中毒症状、処置法等がカード形式にまとめられて記載されている。農薬38項目、家庭用品60項目、工業用品等70項目、医薬品128項目、他に一般薬、公衆衛生用薬の一覧表がある。中毒原因物質の一般名、商品名から検索できる。対象物質が多い中毒の書籍である。
	147		第三版 急性中毒処置の手引 必須272種の化学製品と自然毒情報	鶴飼卓、 監	じほう	1994	7400	別	日本中毒情報センターでの経験をもとに医師、薬剤師が一般市民から中毒の問い合わせを受けた時にすぐ役立つように中毒発生頻度の高い家庭用品を中心に解説してある。毒性、症状、処置、問い合わせ時の確認ポイント、情報提供時の要点、体内動態、薬理作用、治療上の注意点、文献、商品名が記載。対処法が的確な中毒の書籍である。
	148		産業中毒便覧 増補版	後藤桐、 他編	医歯薬出版株式会社	1986	48000	別	広範囲の化学物質について、環境・健康管理に必要なことがらを解説している。その内容は、用途、物理・化学的性質、致死・中毒量、代謝、症状、許容濃度、催腫瘍性等が簡潔に解説されている。化学物質の中毒についてまとめられた書籍である。
	149		改訂版 症例で学ぶ中毒事故とその対策	日本中毒 情報センター、編	じほう	2000	5000	別	中毒で受診する頻度が高い物質、または頻度は高くないが注意が必要な物質について問い合わせのあった症例を中心に、概要、成分・組成、毒性、体内動態、症状、検査、治療、参考文献が記載されている。
	150		データ全面改定・追補 食中毒の正しい知識 改訂版	三輪谷俊 夫 監修	奈根出版	1993	7000	-	食中毒の心配のない食品の供給を続けるために必要な情報を用意する目的でまとめられた書籍。食中毒をおこす原因菌の知識やQ&Aが記載されている。
22 0: 調 剤 ・ 製 剤	151		最近の皮膚外用剤	中山秀 夫、他編	南山堂	1991	9000	別	外用剤の使い方、成分の理解、副作用とその対策などをまとめた書籍である。目次は次の通りである。I.外用剤の適応と使い方。II.外用剤ベースの組成と機能。III.外用剤の副作用。IV.外用剤と薬事法。
	152		坐剤 製剤から臨床応用まで	西村昌 三、編	南山堂	1985	7000	別	坐剤の基礎から臨床までを解説した書籍である。薬物の吸収についての記載が多く見られる。2.坐剤の製造法。3.坐剤基剤の物理化学的性質。4.試験法・評価法。5.病院における坐剤の処方と作り方。6.生物薬剤学。7.薬物速度論に基づく坐剤製剤評価法。8.坐剤の臨床。9.特殊添加物の坐剤設計への応用。10.薬効別にみた坐剤の経験。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
22: 調 剤 ・ 製 剤	153		実用坐剤 新 しい知識と 処方	新谷洋三	医薬ジャーナル社	1986	6800	別	坐剤の基礎から臨床までを解説した書籍である。第2章、坐剤の定義・特徴・種類。第3章、坐剤基剤の物理化学的性質。第4章、製造方法と製造上の留意点。第5章、坐剤の包装。第6章、坐剤の品質試験。第7章、有効性と安全性の試験。第8章、包装材料と包装品の試験。第9章、坐剤の投与部位の解剖・生理。第10章、坐剤の吸収機構。第11章、坐剤の取り扱いかた。第12章、坐剤の実用処方。
	155		調剤業務指 針 第5版	日本薬剤師会、編	じほう	1997	2300	別	日本薬局方第十三改正をもとに、調剤実務の上で必要な事項および、関係のある事項についてまとめたもの。
			第十改訂 調 剤指針	日本薬剤師会、編	薬事日報社	1996	2719	別	日本薬局方の第十三改正を基に、調剤技法の統一を目的とした技術講習の教本として作成された書籍である。
			調剤指針注 解	永瀬一 郎、監	薬事日報社	1996	8544	別	日本薬局方第十三改正にあわせて出版された第十改訂調剤指針の注解書。調剤指針の本文の内容に加えて、実務の参考となるよう解説が注解に記載されている。従って、調剤指針の内容はこの注解に含まれる。
	156		病院薬局製 剤 第4版	日本病院薬剤師会、編	薬事日報社	1997	7600	別	全国の500床以上の病院での病院薬局製剤に関する調査結果をもとに編集された、697の病院薬局製剤について、処方、処方起源、製剤企画の動機、処方薬剤企画、調整法、規格・単位、容器および貯法、使用診療科、適応、用法・用量、使用（有効）期限、文献、製剤頻度、施設名、類似処方についてまとめられている。院内製剤を調査できる書籍でこれだけまとまっているものは他にはない。製剤名、成分名、適応から検索可能。
157		薬局製剤業 務指針 第3 版	日本薬剤師会	薬事日報社	1988	11000	別	第1部は、昭和63年5月11日の厚生省薬務局長通知による「薬局製剤指針」が中心となっており、各品目毎に承認基準が定められている。第2部は、薬局製剤の解説、資料。第3部の使用上の注意である。薬局製剤についてまとめられている。	
158		改訂 図解/ 夢の薬剤DDS	堀了平、 監	じほう	1997	2900	別	DDSに関する基本的なことから医療現場における例までをカラーイラストでわかりやすく解説。	
23 0: 輸 液 ・ 栄 養	159		IVH無菌調製 の実際	田口雅 祥、監	じほう	1990	4757	別	国立がんセンター病院におけるIVH調整の実際についてまとめられたもの。IVHの器具、処方、調整、品質管理、病棟での取扱いなどについてかかれている。
	160		最新 アミノ 酸 輸 液	武藤輝 一、編	医薬ジャーナル社	1996	4200	別	アミノ酸輸液について書かれた書籍である。各論では、外科手術前後、侵襲時、小児、癌患者、肝機能障害時、腎機能障害時、短腸症候群などのアミノ酸輸液について記載されている。
	161		経腸栄養の 手引き	岡田正、 編	医薬ジャーナル社	1993	4700	別	市販される経腸栄養剤の正しい用い方と適切な実施に関する指導書が少ないことから企画された入門書。目次は次の通りである。第1章、経腸栄養の概念・歴史・展望。第2章、経腸栄養の適応。第3章、経腸栄養の手技。第4章、経腸栄養剤の種類・特徴。第5章、経腸栄養剤の調整。第6章、経腸栄養における副作用・合併症と対策。第7章、小児の経腸栄養。第8章、在宅経腸栄養法からなる。
	162		図解 高カリ ー 輸 液 第3版	小越章 平、他著	医学書院	1990	3800	別	各科における高カロリー輸液療法についてまとめられている。症例を呈示し、図表が多く用いられている。
	163		チャートで学 ぶ 輸 液 療 法 の 知 識	北岡建 樹、著	南山堂	1995	7500	別	一般的な輸液に関する書籍は難しく、輸液を理解することは困難であるように思われるため、輸液の基本的な考え方や最小限度の知識をまとめた入門書が必要であることから作成された書籍。輸液療法の考え方や輸液実施の方式をチャートが多用してまとめられており理解しやすい。
	164		一目でわか る 輸 液	飯野靖 彦、著	MEDSI	1997	2800	別	輸液療法は重要な治療手段であり、その基本知識を知ることは適切な輸液療法を行う上で必須である。本書は輸液の基礎がわかる書籍である。読みやすく、理解しやすいように左ページにイラストを右ページに解説がされている。
	165		プ ラ ク ティ シ ス 輸 液 の 基 礎 知 識 第3版	和田孝 雄	医歯薬出版株式会社	1997	4200	別	著者の「輸液療法の簡易化に関する研究」の内容をもとに作成された書籍である。()ぬけの演習問題になっており、輸液の基礎をわかりやすく理解できるように作成されている。
	166		輸液が「 す ぐ に 役 立 つ 実 践 の す べ て 」 - 改 訂 第 2 版 -	Medical Practice 編集委員 会、編	文光堂	1995	5000	別	臨床家が輸液療法を必要とする患者を目の前にしたときに、すぐに役立つ情報をまとめた実用書であり、基礎的理論を解説した書籍ではない。目次は次の通りである。第1部、水・電解質輸液。第2部、栄養輸液。第3部、輸液管理の実際。
23 1: 食 事	167		患者指導の ための病 気 と 栄 養	糸川嘉 則、編	南山堂	1995	11500	別	医療従事者に栄養に関する高度な知識をもってもらふこと、どのように栄養指導したらよいか、などの手引き書として役立つことを目的とした書籍。目次は次の通りである。1.栄養素とその必要量。2.栄養素の過不足による障害。3.疾病と栄養からなる。ある特定の疾患の食事について聞かれた時に調査する書籍である。
	168		食事療法の すべて 医療 スタッフ指導 の手引き	中田福 市、他著	金原出版 株式会社	1997	2300	別	食事は、入院中の患者にとっては人間的な関心事であり、慢性疾患患者に対しては適切な食事指導が必要であることからまとめられた書籍。食事をE・制限食、塩類・蛋白質制限食、脂肪制限食に分類し、疾患別に食事療法を解説している。
	169		新版 食事療 法ハンドブック	五島雄一 郎、編	朝倉書店	1996	18000	別	疾患別に、医師が疾患の特徴とその食事療法について記載し、栄養士が献立の実際について記載している書籍。疾患全般にわたって食事療法が記載されている。ある特定の疾患の食事について聞かれた時に調査する書籍である。
24 0: 配 合 変 化	170		注射薬調剤 監査マニュアル	山口県病 院薬剤師 会注射調 剤特別委 員会、編	ミクス	1998	9000	別	注射剤の薬品管理だけでなく、注射処方箋の処方監査を行うところまでは薬剤師の業務であるという考えのもと、その際に実際に役立つデータ集として作成された書籍である。監査のポイントでは、溶解後の注意や投与ルート、投与速度などが記載されている。pH変動カールでは、変化のない場合は白、変化がある場合にはグレーで変化様相が記載されている。配合変化例の紹介もある。山口県病院薬剤師会での作成ということに驚いたが、注射薬の配合変化の書籍としては希にみる優れた書籍である。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
24 0: 配 合 変 化	171		注射薬配合 変化早見 '9 9	長田皇紀 夫、監修	薬事新報 社	1999	4700	別	注射剤は混合して用いられることが多く、前もって配合不可薬剤の組み合わせについて調査できるシステムの確率が求められていることから、将来的にはデータベース化できるよう、一覧表形式で表された書籍。注射薬の配合変化を配合可、配合注意、配合不可の情報が簡便に表されている。
	172		注射薬配合 変化予測の 実際	仲川義 人、編	医薬ジヤ ル社	1997	5800	別	注射薬配合変化予測研究会会員による執筆。注射薬配合時の物理化学的变化について、混合液のpHおよび配合変化を的確に予測する方法の考え方などが記載されている。配合変化一覧表ではない。
	173		表解 注射薬 の配合変化 改訂6版	宮崎勝 巳、監	じほう	1995	8544	別	注射剤の配合時の問題について正確な情報が必要とされることから、文献・資料などを収集整理し作成された書籍。注射薬の配合変化が表にまとめられ、資料欄には、性状、安定性などの他配合上の特徴が記載されている。配合変化の一覧表である。
25 0: T D M	174		TDM実地科 本	大久保昭 行、他編	文光堂	1992	7767	別	TDMに関する実用的な書籍。薬物動態学の基礎知識から、患者の病態に応じた薬剤の投与量、血中濃度測定法、注意事項、個々の薬物の血中濃度見方からなる。図入りで解説されている。
	175		薬物投与設 計のための TDMの実際	伊賀立 二、他編	じほう	1993	7573	別	総論では、血中濃度測定の意義、基礎知識、精度管理および試料の取り扱い、定量法など、基礎的なことが記載されている。各論では、個々の薬剤別に、臨床薬物速度論、治療濃度範囲・中毒発現濃度、ならびに、食事の影響などデータの取り扱い上の注意が記載されている。
	176		臨床に役立 つ TDM実 例集 第1集	TDM実 例集編 集委員 会、編	じほう	1991	1845	別	TDMを効果的に実践していくために、TDMに関与する医療スタッフが経験した症例を紹介している。第1集は投与設計・血中濃度解析を中心に、第2集では中毒時の血中濃度解析の症例と調剤とTDMのかかわり合いを中心に、第3集ではMRSAを中心に、AMC、カン、バソマイシンについて記載されている。TDMについて症例を中心にまとめられている。
			臨床に役立 つ TDM実 例集 第2集	TDM実 例集編 集委員 会、編	じほう	1992	2000	別	
		臨床に役立 つ TDM実 例集 第3集	TDM実 例集編 集委員 会、編	じほう	1994	2330	別		
25 5: 薬 物 体 内 動 態	177		薬剤予測学 入門	東京大学 医学部附 属病院薬 剤部	じほう	1993	8544	別	薬剤予測学という研究分野を理解するために作成された書籍。たとえば、体内動態を実践に生かすための考え方がわかる書籍。月刊薬事に1991.2.-1993.4.まで連載の書籍。
	178		薬物代謝学 辞典	山本郁 男、編著	廣川書店	1995	8800	別	薬物の代謝についてまとめられている辞典。薬毒物が体内での化学変化を化学構造式で説明されている。
	179		改訂 薬物動 態学	高田寛 治、著	じほう	1995	5800	-	薬物動態学の基礎的な入門書として作成された書籍。薬物動態学の全般的なことについての記載の他、腎障害・肝障害といった病的条件下および小児・高齢者といった生理的条件下の体内動態についての記載もある。
	180		臨床薬物ハ ンドブック 第4 版	神代昭、 他編	医歯薬出 版株式會 社	1992	5049	別	医薬品480品目について薬理作用、用法・用量、性状、半減期、血中濃度、体内動態、使用上の注意、患者へのアドバース等、体内動態値がみやすくまとめられた書籍。体内動態値の情報がまとめて入手できる。
	181		臨床薬理学 テキスト 2版	植松俊 彦、他編	南江堂	2001	4700	別	臨床薬理学の基礎を解説した総論部分と、薬物治療学の基礎となる治療薬の使い方が薬物動態学なども用いて記載されている。総論では、薬物血中濃度解析のための基礎理念、精度管理、資料の取り扱い方を解説し、ついで定量法についてまとめられている。各論では、抗てんかん薬・喘息治療薬・強心配糖体・その他の対象薬物について、臨床薬物速度論、治療濃度範囲、中毒発現濃度、濃度データの取扱上の注意、文献などが項目立てで解説されている。薬物動態学と薬理学が合体した書籍。薬理学と動態学からまとめられた書籍である。
	182		腎臓の臨床 薬物動態学 の基礎	樋口駿、 監訳	じほう	1999	6000	別	Part1では、分布容積、クリアランスなど主な薬物動態パラメータについて解説し、Part2では、18種の薬剤の臨床で遭遇する問題を提示し、薬物動態の臨床応用について記載されている。
	183		疾患からみ た臨床薬理 学	大橋京 一、他編 集	じほう	1999	4200	別	疾患から薬物について解説された書籍である。総論では薬物動態や、肝・腎障害時の薬物投与方法についても記載され、各論では疾患別に、治療指針、病態生理、薬物療法などについて記載されている。
26 0: 薬 物 体 内 動 態  海 外	184		A Textbook for the Cli nical Appli cation of T herapeutic Drug Moni toring	Taylor W.J., Die rs Cavine s M.H.	Abbott L aborator ies	1986	11000	別	
	185		Applied Pha rmacokineti cs 3Ed	Evans W. E., Schen tag J. J., Jusko W.J.	Applied Therapeu tics, In c.	1992	13300	別	
	186		Clinical Ph armacokinet ics Drug Da ta Handbook	-	ADIS PRE SS	1998		-	Clinical Pharmacokinetics別冊。全部で5つの表+ からなる。Table 1は薬物動態表。Table 2は腎障害時の薬物投与量の表。Table 3は肝障害時の薬物投与量の表。Table 4は薬物の母乳移行の表。母乳への移行の表では、母親の血中薬物濃度と胎児の血中薬物濃度の割合から安全度を5段階で評価している。
	187		Handbook of Clinical P harmacokine tic Data	David B. Jack	Macmillan Publishers Ltd	1992	9400	別	

30 OK W	300No	300	図書名 <雑誌名>	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
27 0: 病院薬局業務	188		医薬品適正使用の基礎と実践	朝長文弥、監修・編集	じほう	1995	4175	別	医薬品の適正使用にむけてどのように取り組んでいったらよいか、具体的に現場での例があげて紹介されている。病院業務全般についてわかる。医薬品の使用時に必要とする知識、技術、考え方を基礎と応用にわけて解説している。200点業務(現900点業務)についても北里大学の実践を中心に解説している。病棟業務についてまとめられている。
	189		入院調剤技術基本料業務の実際 <月刊薬事>	-	じほう	1993	3398	別	月刊薬事35(11), 1993.入院調剤技術基本料業務について、総論、基礎、実際に取り組んでいる例、手続き等について書かれている。中小病院における取り組みの例も紹介されている。中小病院における病棟業務についてもまとめられている。
	190		薬学生 病院実習マニュアル	東京都病院薬剤師会 監修	じほう	1997	3708	-	薬学生の均質的な病院実習の一つの指標として作成された書籍。病院実習用に作成されているため、病院業務全般についてわかる。目次は次の通りである。1章.病院実習概論。2章.調剤業務。3章.製剤業務。4章.TPN業務。5章.医薬品管理業務。6章.医薬品情報管理業務。7章.薬剤管理指導業務。8章.試験研究業務。
	191		薬剤管理指導業務マニュアル - 導入から届出受理後の問題まで -	日本病院薬剤師会、監修	ミクス	1997	2427	別	これから薬剤管理指導業務に取り組もうと考えている場合のマニュアルとしては、必要な情報がまとめられており参考になる資料である。第1章は薬剤管理指導業務の導入にあたって、第2章は薬剤管理指導業務マニュアル、第3章は薬剤管理指導業務の導入後の注意事項、第4章は薬剤管理指導業務の実例、第5章薬剤管理指導業務に関するQ&Aからなる。
	192		病院薬剤師の臨床業務現状と今後の進展	下川正見、監修	ミクス	1994	2913	別	薬剤管理指導料に関する幅広い参考資料をめぐして作成された書籍。病院薬剤師の臨床業務の実例が多く紹介されている。1.臨床業務の経緯と現状。2.臨床業務の実例。3.臨床業務に対する評価。4.今後の臨床業務と職能。からなる。
27 1: ファーマシューティカルケア	193		Dr.カイザーのファーマシューティカルケアワークブック	田中依子、他監訳編	じほう	1998	3000	別	カイザー教授の病院薬剤師、開局薬剤師を対象に行ったファーマシューティカルケアセミナーのテキストをまとめたワークブックである。各章ごとに目的と到達点が記載されている。ファーマシューティカルケアを学習したい人むけの書籍である。
	194		ファーマシューティカルケア	渡辺徹、他著	薬事日報社	1994	3399	別	1993年東京で開催されたFIP年次大会、WHO主催の薬剤師の役割に関する会議で、世界の薬剤師がどのようなファーマシューティカル議論をしたのか、今後どのように進めようとしているのかといった疑問に対して参加者が応えていこうと企画された書籍。
	195		ファーマシューティカルケア<月刊薬事>	-	じほう	1997	2718	別	月刊薬事39(4), 1997.ファーマシューティカルケアの特集号である。ファーマシューティカルケアをキーワードとして、QOL、インフォームドコンセント、薬剤疫学、POSなどが紹介されている。開局薬剤師が行うファーマシューティカルケアの記載もある。
28 0: 服薬指導			日経DI薬局虎の巻シリーズ これだけは役立つ!「患者以外」虎の巻	堀美智子、監修	日経BP社	2001	5238	別	
			日経DIクス服薬指導・実践編	日経ドラッグインフォメーション、編集	日経BP社	1999	4571	別	
			日経DIクス服薬指導・実践編2	日経ドラッグインフォメーション、編	日経BP社	2000	4571	別	
	196		仮死による外来患者の指導 - インフォームド・コンセントを目指して -	五島雄一郎、監	南山堂	1995	10000	別	病気の指導の書籍。解説編と仮死編の2冊からなる。解説編では病気の説明、原因、増悪因子、症状、合併症、検査所見、診断、日常生活指導、治療などの項目を見出しをつけて記載。仮死編ではその中の一部を仮死つきで記載し、患者への指導で利用できるように工夫されている。疾患の服薬指導に使える解説書である。
	197		薬のQ&A	石橋丸應、他著	南山堂	1991	2500	別	服薬方法や使用法の説明書が絵や漫画で書かれていれば、患者さんも読んでくれるだろうということで作成された書籍。「薬はなぜコップ1杯の水で飲むのか」といった常識の服薬指導をquestionとし漫画で解説している。
	198		実践服薬指導のための定量噴霧式ネブライザーの使用法	伊賀立二、他編	じほう	1993	1845	別	ハドネブライザーの使用法について根拠をもとに記載。なぜこうする必要があるのか納得できる。例えば、吸入後うがいなぜするのかについては、口の中への薬の沈着状況のグラフを示し解説している。ネブライザーの使用法について文献をもとに記載されている。
	199		小児科領域で役立つ服薬指導Q&A	高瀬美咲枝、著	医薬ジャーナル社	1994	2500	別	臨床薬剤師が患者さんからよくうける質問に対する回答をポイントをおさえわかりやすく記載されている書籍。ポケットサイズ。
			服薬指導Q&Aシリーズ 抗菌薬編	井上松久、他監	医薬ジャーナル社	1999	2900	別	
			服薬指導Q&Aシリーズ 循環器科・内分泌科領域 - 膠原病・腎臓病を含めて -	国立東京第二病院薬剤科、編	医薬ジャーナル社	1995	2500	別	
			服薬指導Q&Aシリーズ 高齢者編	平井俊策、他編著	医薬ジャーナル社	1996	2500	別	
		服薬指導Q&Aシリーズ 呼吸器科編	泉孝英、監	医薬ジャーナル社	1997	2200	別		

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
28 0: 服薬指導	199		服薬指導Q&Aシリーズ 消化器科編	細田順一、監	医薬ジャーナル社	1997	2000	別	臨床薬剤師が患者さんからよくうける質問に対する回答をポイントをおさわかりやすく記載されている書籍。ポイントが
			服薬指導Q&Aシリーズ 小児科編	高瀬美咲枝、著	医薬ジャーナル社	1998		別	
			服薬指導Q&Aシリーズ 心臓病編	柴川雅彦、監	医薬ジャーナル社	2000	2200	別	
			服薬指導Q&Aシリーズ 精神科領域	村崎光邦、他監	医薬ジャーナル社	1996	2500	別	
			服薬指導Q&Aシリーズ 妊婦・授乳婦編	林昌洋、監	医薬ジャーナル社	1996	2500	別	
	200		薬剤師のための実践服薬指導	伊賀立二、他監	広川書店	1994	7800	別	薬剤師が適正でかつ生きた服薬指導を行うために必要な考え方などのノウハウがまとめられている。各薬剤別によくある質問内容を科学的根拠となるデータをもとに解説されている書籍である。
	201		薬剤師必携服薬サービスのポイント患者さんからのメッセージ	小室徹雄、責編	医薬ジャーナル社	1996	3605	-	大阪赤十字病院に開設されたおくり相談コーナーの相談から心に深く刻み込まれたいくつかの事例をとりだしまとめた書籍。患者と薬剤師の会話形式で書かれている。抗癌剤での事例もいくつかあげられているが、マニュアルどおりにはなかなかいかないのだと考えさせられる。
	202		ナース・薬剤師のための臨床に生かしたい薬の話(改訂版)	中原保裕、著	学習研究社	1997	2500	別	患者さんに理解してもらうには、説明する人が内容をよく理解しておく必要があるという考えのもと作成された書籍。例えば、薬の服用時間にも理由があるものとなないものがあるといった基礎知識が解説されている部分と、薬効毎に知っておくべき情報が整理された書籍。各項目の最後にはQ&Aがもうけられており、内容の確認ができる。薬の基礎知識についてまとめられている。
	203		わかりやすい薬の知識-知って安心、薬の使い方-	二宮英、編著	新日本法規出版	1995	3495	別	確かな薬識を患者が、正しい薬の使い方が行われることによって読者の健康の保持、増進や疾病の治療に役立つように作成された書籍。内容の大部分は3章で、疾患別に病気の概略と、治療薬、副作用が記載されている。副作用は人物のイラストで現れる部位に記載され、その重篤度によって「すぐに医師へ連絡」、「早く受診」、「気になる場合は相談」にわけて記載されている。
28 1: 服薬指導	204		STANDARD 医師・歯科医師・薬剤師のための医薬品服薬指導情報集[薬効別]	厚生省薬務局、監	じほう	2000	28500	別	薬剤師が調剤する場面で必要な服薬指導や、患者の質問に答える場合の手引き書として活用されることを目的とし、国内・海外のできるだけ多くの情報を網羅し、公平な視点で作成した資料。特に、薬理作用の概略、相互作用は充実している。各医薬品について名前、効能効果、概要、服用方法、飲み忘れの処置、多量服用時、保存、相互作用、副作用等かなり詳しく記載されている。
			STANDARD 医師・歯科医師・薬剤師のための医薬品服薬指導情報集 追補	厚生省薬務局、監	じほう	2000	10000	別	
	205		商品別薬剤情報提供マニュアル	田中良子、監修	じほう	1998	5400	別	各薬効ごとに指導のポイントを患者向け、薬剤師向けに記載し、副作用については、患者向けでは症状を、薬剤師向けには副作用を記載。他に、服用を忘れたときの指示や使用上の注意等について解説している。薬の服薬指導の書籍はたくさん出版されているが、その中でも使いやすい書籍である。
	206		薬剤情報提供ガイド	別府宏園、監修	薬局新聞社	1998	4000	別	患者が薬を服用中に何か異変が生じた場合に、どうしたらよいかかわかる患者添付文書を意図して作成された書籍である。注射薬を除いた、内服薬・外用薬の約1200品目について、代表的な商品名、効能・効果、服用上の注意、副作用で記載されている。副作用の記載は、USPDI、TIP誌を参考に、すぐに受診すべきもの、医師に必ず報告すべきもの、ひどいときや長く続くときには相談の3段階にわけて記載されている。また、抗がん剤については、告知されていることを前提として同様の解説がつけられているが、識別のため*がついている。1つの医薬品の量は少ないが必要なポイントはおさえられた服薬指導の書籍である。
207		薬のイキツク Part1	水島裕、監修	金原出版	1998	4800	別	適切な医薬情報を「わかりやすいかたち」で患者に提供したくても多忙な日常業務や、量が膨大なため整理できず実行できないことがある。このようなことを解消するために作成された書籍である。第1部は個々の薬の説明、第2部は薬の服み方・使い方、生活指導、食事療法、検査法や手術法の説明、承諾書や同意書について患者にわたす指導ポイント(服薬指導に限定していない)をまとめた書籍である。基本的に1頁で記載され、医薬品は、概略、使い方と効果、副作用、使用上の注意、代表的な薬からなる。第2部では、使い方と、医師に限らず、薬剤師、臨床検査技師などが患者にとって必要な情報を提供する目的で利用する場合にはポイント-することが認められている。	
		薬のイキツク Part2	水島裕、監修	金原出版	1998	4200	別		
28 2: 服薬指導	208		15か国語診療対訳表 Medical Check Sheet	栃木イタナショナルライヴ	医学書院	1994	4800	別	言葉の通じない外国人患者とのコミュニケーションがとれるように作成された書籍。英語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、フィリピン語、インドネシア語、シリア語、タミル語の15か国語で事務窓口・会計用、問診、診察・検査、診断、治療、会話、薬の飲み方、承諾書が書かれている対訳表。15か国語が対象となっている。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
28 2: 服薬指導 外国語	209		外国人患者が薬局に来て も大丈夫	小野崎悦子、著	じほう	1996	7961	-	言葉によって意志疎通のできない外国人でも安心して薬を服用できるように作成された書籍。英語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、中国語、ロシア語、タイ語、タガログ語、フランス語、ドイツ語、アヒル語で、薬歴簿、薬局案内、服薬指導などが記載されている。12カ国語が対象となっている。
29 0: 服薬指導 海外	210		MEDICATION TEACHING MANUAL 5th	-	Am. Society of Hospital Pharm.	1991	10000	別	アメリカ病院薬剤師会編集の服薬指導集。1薬剤1ページ程度にまとめられ、処方理由、服薬方法、服み忘れ、副作用、保存方法等がやさしい言葉で書かれている。付録に癌患者へのアドバンスや、外用剤の使い方の行方等がある。700ページでも提供されている。
	211		PATIENT DRUG FACTS	St. Louis	Facts & Comparisons	9999	25200	ユ	患者への服薬指導についてわかりやすい言葉で解説している。ルズリ方式でupdateがある。薬の作用機序、使い方、注意、相互作用、副作用、ガイドラインが記載。
30 0: 在宅・介護	212		患者さんに喜ばれる在宅訪問 <調剤と情報>	中西敏夫、編	じほう	1996	1800	別	調剤と情報2(S), 1996. 在宅に取り組む薬剤師から、「在宅してみよう」という呼びかけを、経験をもとに記載されている。
	213		口から食べる-嚥下障害Q&A-	藤島一郎、著	中央法規出版	1995	2300	別	著者の嚥下障害の患者に対する取り組みをまとめた書籍。Q&A形式で記載され、中には症例が紹介されているものもある。
	214		口腔ケア実践マニュアル	鈴木俊夫、監	日本総合研究所	1994	2718	別	口腔状態の悪化を予防あるいは解決にすぐに役立てることができるように、現場から集めた口腔ケアに関する質問をQ&A方式で説明した書籍。口腔ケアへの実践の取り組みが紹介されている。Q&Aの項目は1. 症状別口腔ケアのポイント。2. 疾患別口腔ケアのポイント。3. 対象別口腔ケアのポイント。4. 口腔の主な疾患とケアのポイント。5. 在宅ケアの実践。6. 口腔ケアの基礎技術。7. 口腔の用剤の知識と使用方法。8. 口腔ケアに用いられる器具と使用方法。9. 口腔ケアの評価のポイント。10. 口腔ケアに関する現行教育。
	215		高齢者ケアのための口腔ケアプラン	愛知県歯科医師会、他監	厚生科学研究所	1997	2400	別	口腔ケアを実践してきた人たちによって作成された書籍で、プランをたてる際に参考となる書籍。1. 口腔ケアの基礎知識、2. 口腔ケアに関する高齢者の特性、3. 諸症状から導かれるケア事例、4. 医療機関におけるケア事例、5. 口腔ケアQ&Aからなる。4章では症例がのっている。
	216		在宅医療Q&A	津田司、編	医薬ジャーナル社	1995	3500	別	在宅に係わる人に全体を網羅した平易な入門書を提供することを目的とした書籍。総論では、在宅医療、包括的アセスメント、精神的援助、訪問看護サービス、服薬管理、リハビリテーション、生活援助器具、在宅モニタリング、法的問題について記載されている。各論では、発熱、呼吸困難、意識障害など、在宅医療で遭遇する症状を取り上げ、次いで、在宅酸素療法、気管チューブ、在宅経管栄養療法など器具を用い患者への対処法が記載されている。在宅についてQ&Aでまとめられた書籍である。
	217		在宅介護と関連用品 3th	日本薬剤師会	薬事日報社	1997	3500	別	在宅介護について、総論、食事、排泄、褥瘡、身体の清潔、消毒剤、寝具、移動用機器、バリアフリー化のための住宅改造、介護者のために、を項目立てて解説。介護の基本知識をはじめとして、在宅で用いる関連用品や、高加圧輸液についても記載された在宅に関する薬剤師向けの実用書である。
			改訂版 老人保健・福祉サービスの基礎知識	厚生省老人保健福祉局老人保健課、監	薬事日報社	1998	3500	別	薬剤師に必要な高齢者保健・福祉制度に関する知識をまとめた書籍である。地域住民から相談を受けた場合に参考になる。平成9年度在宅介護相談薬局支援事業の教科書。
	218		在宅治療へのアプローチ	城谷典保、他編	じほう	1995	6214	別	本書は最新の医療技術の進歩を取り入れ、入院治療と同質の治療を家庭で行う方法や技術を医療スタッフに提供する目的で作成された書籍である。本書では薬剤師にとどまらず、在宅医療に関わる医療スタッフの実践について記載されている。目次は次の通りである。第1章、在宅医療とは。第2章、在宅治療のシステム。第3章、在宅治療の実践。第4章、在宅治療の実践。第5章、在宅治療の使用機器・機材。在宅全般についてまとめられている。
	219		薬剤師のための一歩先をいく在宅医療への取り組み	漆畑稔、編	じほう	1998	1400	別	調剤と情報4(S), 1998. 在宅医療への取り組みがまとめられている。
220		ナース必携 褥瘡ケア用品ガイド <イラストナース>	真田弘美 編集	小学館	1996	1400	-	褥瘡用品についてまとめたガイド誌が必要であることから作成された書籍。1. 体圧現象器具。2. 治療薬・材料。3. ケア用品。4. 栄養管理からなる。	
221		イラストナースMOOK16 最新!褥瘡治療マニュアル 創面の色に着目した治療法	福井基成	小学館	1993	1700	-	日々褥瘡に取り組んできた著者の経験から得た、「褥瘡面の色」によって治療法を選択する」という治療の基本が記載されている。図や写真がふんだんに用いられている。褥瘡治療薬剤、治療材料ごとの記載もある。目次は次の通りである。1. 褥瘡治療を始めるにあたって。2. 褥瘡の治療法をどのように選択すればよいか。3. 褥瘡治療の実践。	

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
31 0: コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	222		看護とカンセリ ンク	吉田哲	メディカ出版	1988	2000	別	「臨床における援助とは、あたり前のことをあたり前にする」という、著者のカウンセリングに対する考えをもとに記載された書籍。目次は次の通りである。1.臨床としてのカウンセリング。2・3.事例学習・看護とカウンセリング。4.看護とカウンセリングの出会う場。カウンセリングの考え方が記載されている。
	223		上手な患者 教育の方法	津田司、 監訳	医学書院	1992	3500	別	Effective Patient Education:A Guide to Increased Complianceの訳本である。医療従事者が患者教育を実践する技能を身につけることを意図した書籍である。患者教育は、医学的な知識を伝えるのみでは不十分であり、患者の考えなどを明らかにした上で行わなければならないという主張を豊富な症例を用いながら解説している書籍。
	224		外来患者へ の服薬カンセリ ンク すぐ使 えるカンセリ ンクテクニック	宗像恒 次、監修	ミクス	1999	1800	別	1章ではQ&Aで、薬剤師が業務の中で経験した迷い不安などに対し、著者らがカンセリ ンクを行っている。2章は症例を提示し、その対応が対話方式で記載されている。
			服薬指導の ためのカンセ リ ンクテクニック	宗像恒 次、他著	ミクス	1995	1942	別	薬剤師むけに書かれたカウンセリングの書籍で、服薬指導の疑問がQ&Aで説明されている。
31 5: P O S	225		薬剤師のた めのPOS	中木高夫	じほう	1996	2330	別	実際の取り組み例が記載されているというよりも、むしろ、POSとはどんなアイテムなのかを解説した書籍である。薬剤師むけにPOSの概念が記載された書籍である。
	226		フォーカシング -患者中心 の看護記録-	岩井郁 子、監訳	医学書院	1997	2400	別	看護過程に基づいた経過記録の1つであるフォーカシングのワークブック的な書籍である。
	227		これからの 薬剤管理指 導業務 POS による標準 化計画	旭川厚生 病院薬 局、編集	じほう	1998	2600	別	旭川厚生病院におけるPOSの実践で選ばれたノウハウをまとめた書籍。各章は疾患別に公正され、薬物治療に関わるプロブレムリストがあげられている。また練習問題もある。
31 6: E B M	999		続EBM実践 ワークブック- 今、で きる限りの 医療を-	名郷直 樹、著	南江堂	2002	3000	別	EBMを学びたい人のためのワークブックである。
32 5: Q & A	228		卸DI 実例集	日本医薬 品卸勤務 薬剤師 会、編	日本医薬 品卸業連 合会	9999		-	「月刊卸業」に連載された「卸DI実例集」をまとめたもの。卸DIによせられる質問は幅広い分野にわたっているため、どのような種類の質問か迷った場合や情報源がわからない場合役に立つ書籍。
	229		薬局相談事 例集	日本薬剤 師会、編	薬事日報 社	1989	2500	-	厚生省が実施する薬局モニターで報告のあった相談事例や、薬事情報センターによせられた質問の中からPart1では128,Part2では110を選択し、その回答例と調査した資料を紹介している。薬局におけるQ&Aが記載されている。
			薬局相談事 例集 Part2	日本薬剤 師会、編	薬事日報 社	1995	2719	別	
	230		医薬品情報Q &A '82	国立病院 医療セン ター	朝倉書店	1982	3500	-	国立病院医療センターの医薬品情報管理室によせられた質問の中から、同医薬品情報管理室が発行している情報誌のQ and A欄に掲載した質疑応答例をまとめたもの。全部で10巻完結である。病院のQ&Aの書籍である。
			医薬品情報Q &A '83	国立病院 医療セン ター	朝倉書店	1983	3500	-	
			医薬品情報Q &A (3)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1985	3500	-	
			医薬品情報Q &A (4)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1987	4500	-	
			医薬品情報Q &A (5)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1988	5150	-	
			医薬品情報Q &A (6)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1990	5500	-	
			医薬品情報Q &A (7)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1992	5500	-	
			医薬品情報Q &A (8)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1993	5000	-	
			医薬品情報Q &A (9)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1996	4854	別	
		医薬品情報Q &A (10)	国立病院 医療セン ター	ミクス	1997	5000	別		
33 0: D I 関 係	231		医薬品卸DI 技術マニュアル	社団法人 日本医薬 品卸業連 合会、監	じほう	1998	3400	別	日本医薬品卸勤務薬剤師会のDI委員会の委員が中心となって、医薬関連情報について検討し、的確な情報機能が発揮できるようにするべきであるという期待に応えるために作成された書籍。各論では、卸DIによせられる質問を約30に分類し、フローチャートで回答の導き方を解説、またその分野で用いる情報源をまとめたもの。調査方法は、個人によって様々であるため、調査方法や情報源を知りたい人には良い書籍である。また、他の人の調査方法を知ることができるため、こんな方法もあるのか、こんな資料があるのかと知ることができる。
	232		医薬品情報 学 第2版	山崎幹 夫、他編	東京大学 出版会	1998		-	薬学の中で、今後さらに重要性を増すと考えられる医薬品情報を学問分野としてとらえ編集した書籍。医薬品情報の教科書的な書籍であり、第1部総論、第2部医療分野における医薬品情報、第3部医薬品情報の手法と活用、第4部医薬品の情報源と医薬品情報の全般にわたって記載されている書籍である。医薬品情報の体系が記載されている。
	233		これからのD rug Informa tion 新しい 医薬品情報 活動の技術	菅野彊、 著	医薬ジャー ナル社	1996	2900	別	医薬品情報に対する、著者の経験、考え、試みが記載されている、調査資料がまとめたわけではなく、読み物的な書籍。第3章の薬物動態学はDI技術の宝庫は体内動態をDI技術に取り込んだ例があげられており興味深い。医薬品情報に対する考え方が記載されている。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
33 0: D I 関 係	234		新医薬品情報	笹本光雄、著	広川書店	1993	6800	別	薬学系大学学生を対象とした医薬品情報学といった授業の教科書を意図した書籍であるが、薬剤師に限らず医薬品情報を学ぶ人にとって必要な情報をまとめた書籍である。医薬品情報全般について記載されている。医薬品情報の体系が記載されている。
	235		医薬情報ハンドブック改訂第2版	堀美智子、著	南江堂	1998	6800	別	著者の20年間におよび医薬情報活動での経験で会得した、薬に関する様々な情報源、調査方法、評価の考え方、提供の仕方を伝えることを目的として作成された書籍。第I部医薬情報の考え方、第II部例題、第III部資料一覧からなる。第II部では、例題の調査から評価、情報提供をフローチャートであらわされている。
34 0: 政 府 刊 行 物 関 連 等	236		Drug Safety Update(DSU)	-	-	9999		-	Drug Safety Updateは、添付文書の「使用上の注意」に改訂があった場合、日本製薬団体連合会が、厚生省の監修のもと当該製品関連企業分をとりまとめ掲載しているもの。
	237		医薬品情報薬局モニター情報、医療器具モニター情報、再評価結果等	-	-	9999	0	-	
	238		新医薬品承認審査概要(SBA)	厚生省薬務局新医薬品科、編	日本公定書協会	9999		価格は1冊1500~2000円	SBAは、新医薬品の適正使用および、承認審査過程の透明性確保の目的で、医師、歯科医師、薬剤師等の医療関係者へ向けて公表されるものである。すべての新医薬品についてだされるのではなく、危険性の高い医薬品や、新しい作用機序で働く医薬品についてだされている。
36 0: 法 規	239		健康政策六法	厚生省健康政策局	中央法規出版	1998	5600	別	保健医療関係の法令を理解できるように、諸法令及び通知を収載。毎年出版される。
40 5: 辞 書 ・ 辞 典 ・ 目 録	240		Patient profileの理解のための加藤の読み方と基礎知識 3版	吉岡優子、他	じほう	2001	2600	別	編者の病棟での経験の中で必要とされた、医療用語や臨床検査、また、病棟でよく問い合わせをうける薬剤についての情報をまとめた書籍。用語編、検査編、TDM編、薬剤編などからなる。ポケットサイズの書籍である。病棟で必要とされる情報がぎっしりつまっている。
	241		医学大辞典	-	南山堂	1998	12000	別	医学用語30000語に適切な解説をつけた医学辞典。医学事典の書籍は何種類かあるが、この医学大辞典は使いやすい。
	242		医学1-7辞典	長谷川栄一	ミクス	1989	3600	別	医学で使用される用語を中心にその語源と意味をユーモアに解説した書籍。531語が対象となっている。医学用語に関する語源がおもしろく理解できる。
	243		新医学略語辞典 第3版	福室憲治、編	中外医学社	1992	6200	別	1つの略語が何通りもの語義に解釈できることがあるため、略語を調査する際の手助けとなることを目的とした書籍。調査できる略語の数が多し。
	244		ポケット版 看護に役立つ数式事典	野中廣志 著	小学館	1996	971	-	看護に必要な152の数式について、数式の意味、判定、看護の必要性、例題が記載されている。鉄剤の投与量、腎不全時の水分摂取量、熱傷患者の輸液量といったことから肝臓における1日アルコールの解毒量と解毒日数、不快指数まで看護にかかわらず、医療に必要な数式についてわかりやすく記載されている。
	245		医学英和大辞典	加藤勝治 編	南山堂	1997	12000	別	医学用語の英和辞書である。使いやすい。医学用の英語辞書は貴重品。
41 0: そ の 他	246		FDAの知識	石居昭夫	薬事日報社	1994	4661	別	アメリカのFDA(Food and Drug Administration)について記載されている書籍。目次は次の通りである。1.FDAの組織と行政。2.FDA関係の法的規制の変遷と主な出来事(年表)。3.FDA関連用語の解説。
42 0: 雑 誌 ・ 新 聞  国 内 ・ 会 誌 ・ 学 会 誌 類	247		日経DI	-	-	9999		-	
		247	各都道府県病院薬剤師会誌	-	-	9999		-	
		248	各都道府県薬剤師会誌	-	-	9999		-	
		249	調剤と情報	-	じほう	9999	17520	別	日本薬剤師会と薬業時報社編集である。1998年1月号は症状とくすりそのしくみと作用を採る:動悸・不整脈・不整脈の病態整生理と薬物治療・薬剤による医療事故発生のメカニズム、患者が知りたい薬の情報、「在宅介護支援センターまちかど相談所」フェル事業についてなどからなる。開局向きの書籍である。
		250	日本病院薬剤師会雑誌	-	日本病院薬剤師会	9999		会員、同時に県病薬の会費も必要	会員
		251	日本薬剤師会雑誌	-	日本薬剤師会	9999		会員	会員
	252	病院薬学	日本病院薬剤師会	薬事日報社	9999		会員	会員	
	253	ファルマシア	-	日本薬学会	9999		会員	会員	

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
43 0: 雑誌・新聞 国内・会誌・商業誌	254		JAMA 日本語版	-	毎日新聞社	9999	9500	込	
	255		MEDICINA	-	医学書院	9999	35129	-	1998年1月号は自己免疫性肝疾患のNew Waveの特集.
	256		THE INFORMED PRESCRIBER(正しい治療と薬の情報)	医薬品治療研究会	医薬品治療研究会	9999	6000	-	メカ-賛助金なしに作成される.適正な医療のための情報を提供する情報誌である.
	257		医学のあゆみ	-	医歯薬出版株式会社	9999		-	
	258		医薬ジャーナル	-	医薬ジャーナル社	9999	35385	込	1998年1月号はアルキ-剤と抗アルキ-剤,2月号はアミノ配糖体系抗生物質の特集である.
	259		月刊薬事	-	じほう	9999	22680	込	1998年1月号は21世紀の医療体制と医療保険制度の改革,2月号は一歩進んだファーマシューティカルの特集.
	260		治療	-	南山堂	9999	36960	込	1998年1月号は感染症と人類の営み,2月号は胸痛診療マップ このサインをどうとらえるかの特集.
	261		日本臨床	-	日本臨床社	9999		-	
	262		薬事新報	-	薬事新報社	9999	35680	-	
	263		薬局	-	南山堂	9999	30240	込	1998年2月号はス`花粉症の特集.
	264		臨床と薬物治療	-	ミクス	9999	22800	-	1998年1月号はブ`ライリク医が診る不整脈,2月号は慢性疾患患者の妊娠の特集.
	999		EBMジャーナル	-	中山書店	9999	11939	込	
45 0: 雑誌・新聞 海外	265		AMERICAN JOURNAL OF HEALTH-SYSTEM PHARMACY	-	The Am. Society of Hos. Pharm.	9999	29085	コ	
	266		American Pharmacy(米)	-	American Pharmaceutical Association	9999	25000	-	
	267		ANNALS OF INTERNAL MEDICINE	-	-	9999	52500	コ	
	268		CLINICAL PHARMACOKINETICS	-	ADIS PRESS	9999	188664	-	
	269		Journal of American Medical Association(米)	-	JAMA	9999	30000	-	
	270		THE ANNALS OF PHARMACO THERAPY	-	HARVEY W HITNEY BOOKS	9999	38850	コ	
	271		THE LANCET	-	The Lancet Ltd.	9999	82950	コ	
272		THE NEW ENGLAND JOURNAL OF MEDICINE	-	Massachusetts Medical Society	9999	50400	コ		
46 0: 雑誌・新聞 新聞	273		Medical Tribune	-	メディカルトリビューン	9999	13000	税込	海外の情報が多く掲載されている新聞である。
	274		Pharmaweek	-	じほう	9999	18000	-	開局向けの週間新聞.顧客重視型の専門業態確立への道など、店舗作り参考に情報掲載されている。
	275		薬事日報	-	薬事日報社	9999	32340	税込	最新の薬学会のニュースがデイリーに入手できる新聞である(週3回発行)
	276		薬局新聞	-	薬局新聞社	9999	15000	-	
47 0: 製薬会社発行資料	277		インタビューフォーム	-	-	9999		-	インタビューフォームは各製品毎に作成される製品説明書であり、添付文書よりも詳しく、薬剤師と製薬企業の情報担当者との間でその製品について検討するための資料である。日本病院薬剤師会は1998年日病薬学術第3小委員会でインタビューフォームの新たな位置づけとIF記載要領を策定した。それによるとインタビューフォームは、「医療用医薬品添付文書等の情報を補完し、薬剤師等の医療従事者にとって日常業務に必要な医薬品の適正使用や評価のための情報あるいは薬剤情報提供の裏付けとなる情報などが集約された総合的な医薬品解説書として、日本病院薬剤師会が記載要領を策定し、薬剤師のために当該医薬品の製薬企業に作成及び提供を依頼している学術資料」とされている。
	278		各メカ-発行の薬報(雑誌)類	-	-	9999		-	製薬会社が医師,薬剤師を対象に,自社製品の記事,医薬学ニュース,その他を収載して定期刊行している.優れた編集内容のものがあり,トビックニュース,DI実例集も収載されているので,十分に活用すべきものである.情報資料として活用できる例としては,輸液と配合変化(大塚製薬工場),Pharmacy Today(日本化薬),Medical Pharmacy(第一製薬),中外医薬(中外製薬),ス`ケム`ィカ,PHC(ス`ケ),SCOPE(日本アプ`ジョン)等.
	279		基礎および臨床の文献集	-	-	9999		-	各製品についての基礎と臨床の論文をまとめたもの.

300KW	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
47: 製薬会社発行資料	280		添付文書	-	-	9999		-	添付文書は、薬事法52条(添付文書等の記載事項)、53条(記載上の留意事項)、第54条(記載禁止事項)、第56条(製造専用医薬品に関する表示の特例)、57条(添付文書の記載)、58条(邦文記載)で記載事項が法的に規定されている。添付文書はその医薬品使用に当たっての最低限の情報である。添付文書の記載方法は厚生省の定めるところを受けて日本製薬団体連合会では作成のためのガイドラインを作っている。添付文書の内容は、使用上の注意の改訂、再評価などで変更されることがあるので、最も新しいもの(作成年月日が記載されている)を常に整理して置くことが肝要である。
50: マイクロフィッシュ	281		IDIS Drug Literature Microfilm File	-	Iowa Drug Information Service	9999	700000	-	薬品名と疾病名で検索できる。対象医薬学雑誌約160誌。年度最終分が年度を通してのものとなり、保管用とする。検索は薬品名または疾病名でIndexを引き、さらに約120のデータベースを使用することにより原著の内容を詳しく知ることができる。データベースは臨床で発生する問題にうまくあてはまるような言葉が用意されている。例えば、症例報告等の論文の形態を示す言葉26種類、調製法、安定性のような薬剤領域の言葉13種類、中毒の治療、診断等毒性に関する言葉8種類、吸収、分布、血中濃度といった体内動態に関する言葉18種類、投与経路に関する言葉13種類、臓器別の副作用に関する言葉18種類、その他、相互作用や禁忌、臨床検査値変化等4種類。
51: CD-ROM	282		International Healthcare Series (IHCCIS) CD-ROM	-	Micromedex Inc.	9999	936600	ユ	各種医学データベースの総称。DI資料として非常に重要なPOISINDEX、DRUGDEXを初めとするデータベースを提供している。POISINDEXは、コロンビア大学を中心とする主要機関が協力して作成。70万におよぶ物質の中毒、毒性データベースから治療法まで即座に検索可能。対象製品は医薬、農薬、工業薬品、家庭用品、化粧品、金属、動物、植物など。データベース内容は成分、薬理、臨床症状、診断、毒性、救急治療法、救急治療法、臨床検査、分析法、主要文献等。DRUGDEXは、一つの薬物に関する様々な文献を十分に評価した上、公正な目で評価し一定の様式により抄録を提供するもので、薬名からその薬物に関する臨床データベースがすべて即座にわかるのみでなく、引用文献によってデータベースに遡ることができる。約1500の一次資料が直接レビューされている上に、全米のデータベースから事例集やコメント、臨床医のコメント、メーカーの添付文書を含むいわゆる生のデータベースも収録。収録されたデータベースは事前に世界各国の選任編集メンバー(25ヶ国、約400)の医師、薬剤師が、評価レビューしたものである。
	283		OTCガイド1997 (CD-ROM)	-	学術情報流通センター	1997	22000	税込	OTCガイドブックのCD-ROM版。
	284		PharmaLand	(株)小田島	(株)小田島	1997	60000	-	副作用文献データベースARIS、医薬品情報データベースBeluga、イタワカ病気とくすりのお話、ねいばらちの3つからなる。BelugaはDRUGDEXを意識したもので、一定の様式にしたがって、多くの情報源から得た情報が掲載されている。(現在、分割されたため、要確認)
	285		THE COCHRAN E LIBRARY	-	THE COCHRAN COLLABORATION	9999	40000	-	コクランライブラリとは、1992年のコクラン共同計画の成果をまとめたもの。年4回発行。CDSR(システムティックレビューを集めたDB)、DARE(一定の評価基準を満たした総説、メタアナリシスのDB)、CENTRAL/CCTR(比較対照研究のデータベース)などからなる。
	286		医学中央雑誌	医学中央雑誌刊行会	代理店株式会社等	9999	300000	-	1903年(明治36年)創刊。報知的抄録。尼子二郎先生によって創刊された日本最古の抄録誌。
	287		日本医薬品集	-	じほう	2000		-	医療薬日本医薬品集、一般薬日本医薬品集、保険薬事典、医療用/医薬品識別ハンドブック、長期投与医薬品便覧のデータベースが入っている。
	288		今日の診療 (CD-ROM)	-	医学書院	2000		-	今日の治療指針、今日の診断指針、今日の整形外科治療指針、今日の小児治療指針、臨床検査データベース、治療薬マニュアル、今日の救急治療指針(第5章のみ)からなどを同時に収録。複数の本の同時検索や、他の書籍への移動が可能。プリントアウトやダウンロードも可能。画像も見ることが可能。
	289		BEST EVIDENCE 4(CD-ROM)	-	代理店等	2000	25970	別	
55: インターネット	290		MEDLINE	米国国立医学図書館	-	9999		-	MEDLINEはアメリカ国立医学図書館が作成している世界的な医学系の二次資料Index medicusのデータベース。1969年から、4300誌、1100万文献を収録。MeSHというシステムを持ち、言葉の統制がされている(検索する際MeSHを気にする必要はない)。Web siteで検索可能( <a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/">http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/</a> )。
	291		インターネット	-	-	9999		-	職場でインターネットが利用できる環境にぜひしたいものである。厚生労働省やMEDLINEなど役立つURLがたくさんある。健康食品など、まとまった情報源が少ない場合、インターネットの検索機能を利用してみると、販売元の情報がのっていることもある。
	292		JOIS	-	日本科学技術情報センター	9999		要確認	利用できるデータベースは15データベースあり、そのうち医学系のデータベースとしては、JMEDICINE(科学技術振興事業団科学技術情報事業本部および医学中央雑誌刊行会が作成する2つのデータベースを合体したデータベース)、JAPICDOC(日本医薬情報センターが発行する日本医薬文献抄録集のデータベース)、MEDLINE(米国国立医学図書館が作成、提供するデータベース)データベースなどがある。
	293		日本薬剤師会のHome Page	-	-	9999		-	<a href="http://www.nichiyaku.or.jp/">http://www.nichiyaku.or.jp/</a>
	294		厚生労働省のHome Page	-	-	9999		-	<a href="http://www.mhlw.go.jp/">http://www.mhlw.go.jp/</a> 。医薬品情報提供ホームページ( <a href="http://www.pharmasys.gr.jp/homepage.html">http://www.pharmasys.gr.jp/homepage.html</a> )では、医療用医薬品の添付文書情報、安全性情報などの情報が入手可能。
	295		国立医薬品食品衛生研究所のHome Page	-	-	9999		-	<a href="http://www.nihs.go.jp/index-j.html">http://www.nihs.go.jp/index-j.html</a> 。医学系の有用なURLにリンクがはってある。

30 OK W	300No	300	図書名 < 雑誌名 >	著者	出版社	出版年	価格	税	300内容
55 1: パ ソ ン コ ン 通 信	296		MEDINET-P	-	MEDIS	9999		-	MEDINETの運営は日本医療情報システム開発センター(JP-TALK, JPA-DI)という日本薬剤師会が運営するネットあり。医薬品副作用情報も提供されている。インターネットのニュースグループの利用もできる。